SONY

4-656-104-01(1)

インターネットに接続する

ホームページを見る（Xiino）

メールをやりとりする（CLIE Mail）

静止画を持ち出す（PictureGear Pocket）

動画を持ち出す（gMovie）

地図を持ち出す（Navin' You Pocket）

テレビの番組表を見る（TVscape）

その他の情報

CLIEを使いこなす

付属アプリケーション取扱説明書

パーソナルエンターテインメントオーガナイザー

PEG-N600C

- CLIE、VAIO、“Memory Stick”(“メモリースティック”)、MEMORY STICK™、“Magic Gate”(“マジックゲート”)、MAGICGATE、“Magic Gate Memory Stick”(“マジックゲートメモリースティック”)、MG、PictureGearはソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、Graffiti、HotSyncは、Palm, Inc.またはその子会社の登録商標であり、Palm Desktop、HotSyncのロゴは、Palm, Inc.またはその子会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Xiino（ジーノ）、Ilinx（イリンクス）は株式会社イリンクスの登録商標です。
- generic mediaおよびgMovieは、generic media,incの商標です。
- ATOK「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機で使用している一部のフォントの著作権は、株式会社タイプバンクに帰属します。
- Adobe® およびAdobe® Acrobat® ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

本製品のソフトウェアをお使いになる前に、必ず付属のソフトウェア使用許諾書をお読みください。

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。

□ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。

□ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。

□ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。

□ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。

ご注意

- 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

目次

Chapter 3

メールをやりとりする（CLIE Mail）

Chapter 4

静止画を持ち出す
（PictureGear Pocket）

Chapter 5

動画を持ち出す（gMovie）

Chapter 6

地図を持ち出す（Navin' You Pocket）

Chapter 7

テレビの番組表を見る（TVscape）

目次

Chapter 8

その他の情報

この説明書について

「はじめにお読みください」の説明に従って、必要な準備を行ってください

本書での操作は、「はじめにお読みください」に記載してある準備が終わっている前提で説明しています。操作を始める前に、以下の準備が終わっていることを確認してください。

- クレードルをパソコンにつないである
- パソコンにCLIE Palm Desktopソフトウェアがインストールされている
- CLIEの初期設定が終わっている

CLIEの基本的な操作については「取扱説明書」をご覧ください

本書はCLIEならではの機能を利用するために、インターネットへの接続や画像表示などに必要な操作を中心に説明しています。
CLIEの基本的な使いかたや、メモ帳やアドレスなどの個人情報管理アプリケーションの使いかたについては、CLIE本体の取扱説明書をご覧ください。

本書の説明内容

本書では、付属CD-ROMに収録されている以下のCLIE用アプリケーション／パソコン用ソフトウェアについて説明します。

ジャンル	CLIE用アプリケーション	パソコン用ソフトウェア
インターネット	ISP契約	
	Net設定	CLIEインターネット設定
	Xiino	
	Xiino Converter	Xiino Cruiser
	CLIE Mail	CLIE Mail Conduit
画像	PictureGear Pocket	PictureGear4.4 Lite
動画	gMovie	PictureGear4.4 Lite
地図	Navin' You Pocket	MapCutter
テレビ	TVscape	TVscape Conduit
その他	MSAutorun	
	MS Import	MS Export

CLIEを使いこなそう

本書を活用して、CLIEの機能を使いこなしましょう。
詳しくは、それぞれの参照ページをご覧ください。

インターネットでCLIEの世界を広げよう（12ページ）

別売りのモバイルコミュニケーションアダプタを使えば、CLIEをお使いの携帯電話やPHSにつないで、インターネットに接続できます。

外出先でホームページ／メールを確認しよう（34ページ、62ページ）

インターネット上のさまざまなコンテンツを楽しんだり、メールをやり取りしたりできます。

PictureGear PocketやgMovieを使って、お気に入りの画像を持ち歩こう（90ページ、112ページ）

付属のPictureGear 4.4 Liteを使って、お気に入りの画像をパソコンで管理しましょう。持ち歩きたい画像だけをCLIEに転送すれば、外出先でもお気に入りの画像を楽しめます。
“ メモリースティック ”に保存された、サイバーショットなどで撮影した画像なども、CLIEの高解像度画面で楽しめます。

Navin' You Pocketを使って、地図を見よう（120ページ）

必要な地図データをMapCutterで切り出してCLIEに転送すれば、外出先でも地図を閲覧することができます。

TVscapeを使って、テレビ番組の確認をしよう（144ページ）

指定した日付のテレビ番組表を番組情報サイトからダウンロードし、CLIEで見ることができます。
また、TVscapeでテレビ番組の録画予約を行い、パソコンにインストールされているGiga PocketにHotSyncで予約情報を転送することができます。

“ メモリースティック ”を活用しよう（172ページ、176ページ）

MSAutorunを使って、“ メモリースティック ”をCLIEに挿入するだけで自動的にアプリケーションを起動したり、MS ImportとMS Exportを使って、パソコンからCLIEに挿入した“ メモリースティック ”に、HotSyncを使わずにデータをコピーしたりできます。

CLIEのホームページにアクセスして、CLIEをパワーアップしよう（183ページ）

CLIEのホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）では、CLIEに関する最新情報を提供しています。さらに、このページから以下のホームページにアクセスして、CLIEの楽しみを広げることができます。

- CLIE Plaza!：CLIEの画面サイズに最適化されたエッセイやグルメ情報、メールマガジンを楽しめます。
- Support：CLIEの機能を増やすアプリケーションのダウンロード（無料）などのサポート情報を提供しています。
- Sony Style.com：PDA Styleのページで有料アプリケーションを購入してダウンロードしたり、各種アクセサリーの購入を申し込めます。

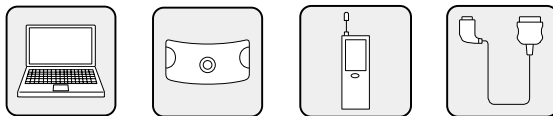
Chapter 1

インターネットに接続する

別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと接続ケーブルを使って、お持ちの携帯電話やPHSをCLIEにつなぎ、CLIEでインターネットに接続できます。
インターネットへの接続に必要なプロバイダ（接続事業会社）の契約から、設定までをCLIEだけで行えます。お持ちのパソコンを使って設定することもできます。

この章で使うアプリケーション／ソフトウェア

CLIE：ISP**契約** Ver.1.1／Net**設定** Ver.1.1
パソコン：CLIE**インターネット設定** Ver.1.1

CLIE本体の他に必要なもの

接続の流れ

CLIEでホームページを見たり電子メールをやり取りするには、CLIEをインターネットに接続する必要があります。インターネットへの接続は、以下の手順で行います。

1　インストールする。（13ページ）

インターネットに接続するための設定に必要なアプリケーションやソフトウェアを、CLIEとパソコンにインストールします。

2　携帯電話／PHSをCLIEにつなぐ。（15ページ）

別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと接続ケーブルを使って、CLIEと携帯電話やPHSをつなぎます。

3　プロバイダと契約する。（18ページ）

すでにプロバイダ（インターネット接続事業会社）と契約をしている場合は、新たに契約する必要はありません。

4　ネットワークの設定をする。（22ページ）

プロバイダからの設定資料に合わせて、設定を行います。

インストールする

CLIEにインストールする

プロバイダとの契約に使う「ISP契約」アプリケーション（18ページ）と、インターネットに接続するための設定に使う「Net設定」アプリケーション（22ページ）を、パソコンからインストールします。
付属のCD-ROMでCLIE Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続してください。

ご注意

ホームページを見たり電子メールをやり取りするには、XiinoおよびCLIE Mailアプリケーションを追加インストールする必要があります。

1 **Windowsのデスクトップの［CLIE Palm Desktop］アイコンをダブルクリックする。**
CLIE Palm DeskTopが起動します。

2 **［インストール］をクリックする。**

3 **ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**

4 **［追加］をクリックする。**
Add-onフォルダが選ばれていることを確認します。
選ばれていないときは手動で表示させます。
Add-onフォルダは、標準ではハードディスクの「Program Files」内の「Sony PDA」フォルダ内にあります。

5 **Add-onフォルダの中から「CLIEインターネット設定」フォルダをダブルクリックする。**

6 **フォルダ内にあるInetSetup.prcをダブルクリックする。**
「インストールするファイル」にInetSetup.prcが追加されます。

7 **手順4〜6と同様に、ISP.prcとWizard.prcの2つのファイルをダブルクリックする。**

8 **［終了］をクリックする。**

9 **クレードルのHotSyncボタンを押す。**
HotSyncが始まり、手順6と7で指定した3つのファイルがCLIEに転送されます。

インストールする

パソコンにインストールする

付属のインストールCD-ROMに収録されている、パソコン用のCLIEインターネット設定ソフトウェアをインストールします。CLIEインターネット設定をパソコンにインストールすると、インターネット接続に必要な設定をパソコンで入力してから、CLIEに転送できます。詳しくは26ページをご覧ください。

1 **パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。**
CD-ROMが認識されると、インストーラの起動画面が表示されます。

2 **[ネットワークにつなぐ]をクリックする。**

3 **[CLIEインターネット設定のインストール]をクリックする。**
CLIEインターネット設定ソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが終了すると、インストーラの起動画面に戻ります。

4 **[終了]をクリックする。**

携帯電話／PHSをつなぐ

別売りのモバイルコミュニケーションアダプターをCLIEに装着してから、携帯電話やPHSをつなぎます。

CLIEで使える携帯電話／PHSの最新情報を確認するには
CLIEは市販されている主な携帯電話／PHSに対応しています。対応している携帯電話の最新情報について詳しくは、CLIEのホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）をご覧ください。

必要な別売り品を用意する

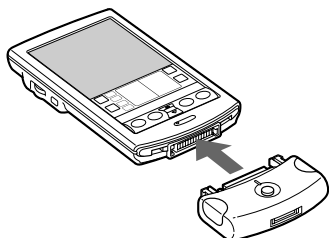
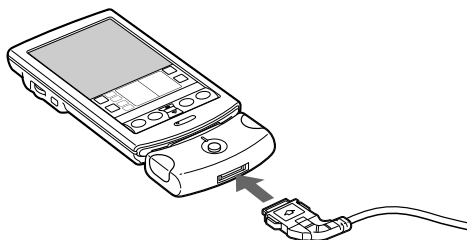
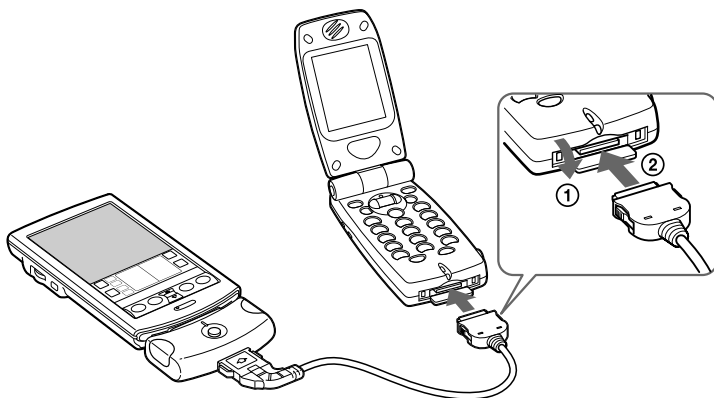
接続の操作を行う前に、以下の別売り品をご用意ください。

モバイルコミュニケーションアダプター
PEGA-MA700

接続ケーブル
お使いの携帯電話／PHSにあったものをお使いください。

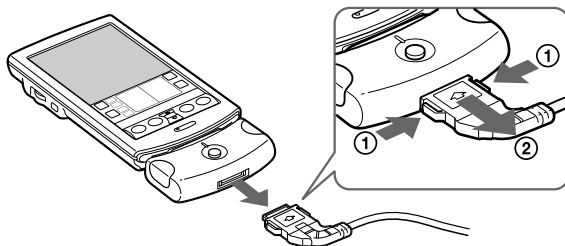
- **デジタル携帯電話、NTTドコモのドッチーモ：**
  PDC用接続ケーブルPEGA-MAC10
- **DDIポケットのH"（エッジ）、feel H"（フィール エッジ）端末、α-DATA32、α-DATA対応電話：**
  DDIポケット用接続ケーブルPEGA-MAC11
- **NTTドコモ、アステルのPHS：**
  PHS（NTTドコモ／アステル）用接続ケーブルPEGA-MAC12
- **cdmaOne携帯電話：**
  cdmaOne用接続ケーブルPEGA-MAC13

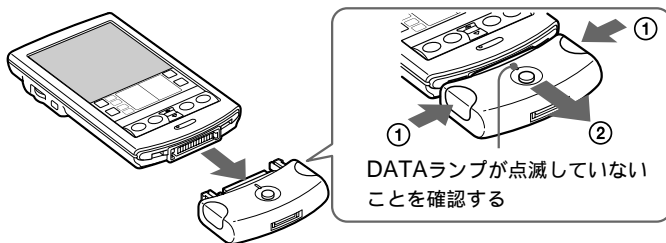
携帯電話／PHSを接続する

1 モバイルコミュニケーションアダプターを本機に取り付ける。

2 モバイルコミュニケーションアダプターと接続ケーブルをつなぐ。

3 接続ケーブルを携帯電話／PHSにつなぐ。

接続はこれで完了です。

プロバイダと契約する必要がある場合は「プロバイダと契約する」（18ページ）、すでにプロバイダと契約している場合は「ネットワークの設定をする」（22ページ）に進んでください。

接続ケーブルを取りはずすには

ケーブルの端子部両脇の取り外し用レバーを押しながら引っぱって、取りはずします。

モバイルコミュニケーションアダプターを取りはずすには

モバイルコミュニケーションアダプターのDATAランプが点滅していないことを確認してから、両脇の取り外し用レバーを押しながら引っぱって、取りはずします。

プロバイダと契約する

プロバイダとは、So-netなどのインターネット接続サービスを提供する会社のことです。CLIEを使ってインターネットに接続するには、プロバイダと契約する必要があります。

- **すでに契約している方は：**契約の必要はありません。22ページに進みます。
- **契約するには：**プロバイダによって方法が異なります。各社の資料をご覧ください。

ここでは［ISP契約］アプリケーションを使って、オンラインサインアップという方法でプロバイダと契約する手順を説明します。オンラインサインアップとは、お買い上げ時にCLIEに収録されている契約用のアプリケーションを使って、携帯電話／PHSから直接プロバイダに契約申し込みをする方法です。

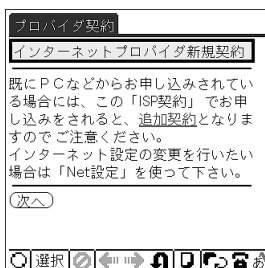
ご注意

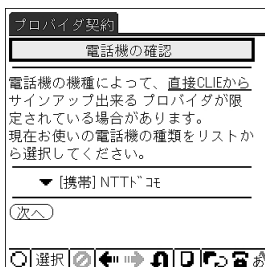
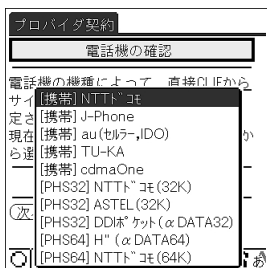
- オンラインサインアップは、付属CD-ROMを使ってパソコンから行うこともできます。付属CD-ROMの「ISPサインアップ」フォルダに、プロバイダ数社の契約用ソフトウェアが収録されています。
- ケーブルテレビの回線を利用したプロバイダなど、一部のプロバイダでは携帯電話／PHSからの接続を受け付けていない場合があります。この場合は改めて別のプロバイダと契約する必要があります。詳しくは各プロバイダまでお問い合わせください。
- ［ISP契約］アプリケーションは、CLIEにXiinoアプリケーションがインストールされていないと動作しません。あらかじめ、36ページの手順に従って、Xiinoをインストールしてください。

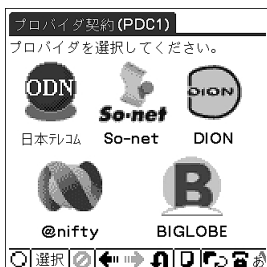
1 **「携帯電話／PHSをつなぐ」（15ページ）の手順に従って、CLIEにモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話／PHSを接続する。**

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［ISP契約］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

［ISP契約］アイコンをタップして、新規加入画面を表示することもできます。

新規加入画面が表示されます。

3 **［次へ］をタップする。**

電話機の確認画面が表示されます。

4 ▼をタップして、お使いの携帯電話／PHSの種類を選ぶ。

5 ［次へ］をタップする。

オンラインサインアップ用ソフトウェアが用意されている、プロバイダの一覧が表示されます（画像は手順4で［携帯NTTドコモ］を選んだときの例）。

6 契約したいプロバイダのアイコンをタップする。

それぞれのプロバイダの契約画面が表示されます（画像は手順5でSo-netを選んだときの例）。

7 画面の指示に従って、契約の操作をする。

ダウンロード画面が表示されたら、［今すぐ］をタップしてください。
携帯電話／PHSの電源が入り、プロバイダに契約申し込みをします。

8 登録が終了したら、画面右下の をタップして、接続を切断する。

CLIEの設定に必要な項目が画面に表示されますので、忘れないようにメモを取ってください。
これでプロバイダとの契約作業は終了しました。

操作中に前の画面に戻りたいときは

画面下の をタップします。

契約が終了したら

- 約1〜2週間後に、プロバイダから契約内容やCLIEの設定のために必要な項目を記載した資料がご自宅に郵送されます。
- オンラインサインアップの場合は、上記の手順が終わるとすぐにCLIEの設定のために必要な設定項目が表示されます。

これらの資料を元に、次ページからの「ネットワークの設定」を行います

ネットワークの設定をする

プロバイダとの契約が終わり、プロバイダから設定資料が送られてきたら、その資料をもとにCLIE側の設定が必要です。この設定は1回行えば、インターネット接続のたびに設定し直す必要はありません。
必要な設定をするには、次の3通りの方法があります。

- CLIEの「Net設定」アプリケーションを使って、プロバイダの資料を見てCLIEですべて設定する（このページ）

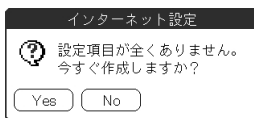
- パソコンの「CLIEインターネット設定」ソフトウェアを使って、お使いのパソコンでインターネットへの接続に使っている設定を、CLIEでの接続用に利用する（26ページ）
- パソコンの「CLIEインターネット設定」ソフトウェアを使って、パソコンで必要な設定項目を入力してから、CLIEに送る（28ページ）

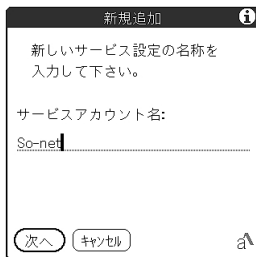
プロバイダの資料を見てCLIEですべて設定する

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［Net設定］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

［Net設定］アイコンをタップして、インターネット設定画面を表示することもできます。

インターネット設定画面が表示されます。

はじめてインターネット設定画面を開いたときは、「設定項目が全くありません。今すぐ作成しますか？」と表示されるので、［Yes］をタップします。

2 サービスアカウント名を入力する。

あとでわかりやすい名前を入力しておくと便利です。（例：So-net都内PHS接続用）

3 ［次へ］をタップする。

ネットワーク画面が表示されます。

4 **インターネットの接続に必要な設定項目を、すべて英数字入力モード（半角）で入力する。**

ユーザー名やパスワードなどの内容については、プロバイダの設定資料をご覧ください。

記入例（So-netの場合）

- ユーザー名：taro@xx2
- パスワード：（プロバイダと契約したときに登録したパスワードを入力）
- 電話番号：03-xxxx-xxxx（プロバイダの接続先の電話番号を入力します。お使いの携帯電話／ＰＨＳによっては、「#32」などのオプション記号が必要な場合があります。別売りの接続ケーブルに付属の、「かんたん接続ガイド」をご覧ください。）

ご注意

- ［クエリーDNS］と［IPアドレス 自動］は、プロバイダの設定資料で必要とされている場合のみ☑をタップして☐にし、アドレスを入力してください。
- 電話番号の -（ハイフン）は、特に入力する必要はありません。

5 **［次へ］をタップする。**

メール画面が表示されます。

6 **電子メールの利用に必要な設定項目を、すべて英数字入力モード（半角）で入力する。**

メールアドレスやサーバー名などの内容については、プロバイダの設定資料をご覧ください。

記入例（So-netの場合）

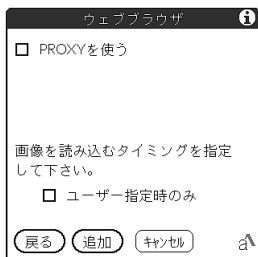
- 送信者名：Taro Suzuki
- メールアドレス：taro@xx2.so-net.ne.jp
- SMTPサーバー：mail.xx2.so-net.ne.jp
- POPサーバー：pop.xx2.so-net.ne.jp
- POPユーザー名：taro
- POPパスワード：（プロバイダと契約したときに登録したパスワードを入力）

7 ［次へ］をタップする。

ウェブブラウザ画面が表示されます。

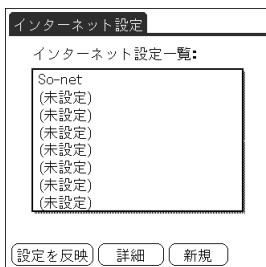
8 プロバイダからプロキシサーバーの指定がされているときは、プロキシの☐をタップして☑にして、ポート番号を入力する。

記入例（So-netの場合）

［PROXYを使う］をチェックしない。

9 ホームページを見るときの画像表示の設定を選ぶ。

CLIEで効率よくホームページを見るために、設定を選ぶことができます。［ユーザ指定時のみ］の☐をタップして☑にすると、ホームページの画像を省略して表示します。画像を読み込むための通信時間を節約でき、便利です。あとから必要にあわせてメニューから「画像をロード」を選び、画像を読み込むこともできます。

10 ［追加］をタップする。

インターネット設定画面に、設定した接続先が表示されます。

11 ［設定を反映］をタップする。

インターネット接続のための準備は、これですべて終了です。

ちょっと一言

CLIEにモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話／PHSをつないだ状態で、メニューから［オプション］-［接続テスト］を選ぶと、接続の確認ができます。

パソコンのダイヤルアップ接続の設定を利用する

「CLIEインターネット設定」ソフトウェアを使って、お使いのパソコンでインターネットへの接続に使っている設定を、CLIEの接続用に利用できます。

1. **お使いのパソコンで、［スタート］メニューから［プログラム］－［Sony CLIE］－［CLIEインターネット設定］をクリックする。**
   CLIEインターネット設定ソフトウェアが起動して、インターネット設定画面が表示されます。
2. **［新規］をクリックする。**
   サービスの名称を入力する画面が表示されます。
3. **名称を入力してから、［設定アシスト］をクリックする。**
   設定アシスト画面が表示されます。
4. **［開始］をクリックする。**
   パソコンで使っているダイヤルアップ接続の設定がコピーされます。
5. **［OK］をクリックする。**
   サービスの名称を入力する画面に戻ります。
6. **［次へ］をクリックする。**
   ネットワーク画面が表示されます。
7. **パスワード（インターネットへ接続するためのパスワード）入力欄など、コピーされなかった設定を入力する。**
8. **［次へ］をクリックする。**
   メール画面が表示されます。
9. **POPパスワード（メールを受信するために入力するパスワード）入力欄など、コピーされなかった設定を入力する。**
10. **［次へ］をクリックする。**
    ウェブブラウザ画面が表示されます。

11 ［追加］をクリックする。

設定はこれで完了です。この後に設定をCLIEに転送します。

12 CLIEをクレードルに取りつけて、HotSyncする。

設定した内容がCLIEに転送されます。

13 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［Net設定］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

［Net設定］アイコンをタップして、インターネット設定画面を表示することもできます。

14 ［設定を反映］をタップする。

パソコン側で行った設定が、すべてCLIEに反映されます。

パソコンで必要な設定をして、CLIEに送る

CLIEインターネット設定ソフトウェアを使って、お使いのパソコンで設定に必要な項目を入力して、CLIEに送ることもできます。

1 **お使いのパソコンで、［スタート］メニューから［プログラム］−［Sony CLIE］−［CLIEインターネット設定］をクリックする。**
CLIEインターネット設定ソフトウェアが起動して、インターネット設定画面が表示されます。

2 **必要な設定項目を記入する。**

3 **27ページの手順12〜14の操作を行う。**
パソコン側で行った設定が、すべてCLIEに反映されます。

他のCLIEに設定を送る

パソコンで設定した内容を他のCLIEに送ることもできます。

1 **お使いのパソコンで、［スタート］メニューから［プログラム］−［Sony CLIE］−［CLIEインターネット設定］をクリックする。**
CLIEインターネット設定ソフトウェアが起動して、インターネット設定画面が表示されます。

2 **一覧から、他のCLIEにコピーしたい設定をクリックして選ぶ。**

3 **［設定］メニューから［設定を他のCLIEにコピー］をクリックして選ぶ。**
「CLIEインターネット設定」画面が表示されます。

4 **設定を送りたいCLIEのユーザー名を入力する。**

5 **設定を送りたいCLIEをクレードルに取りつけて、HotSyncする。**

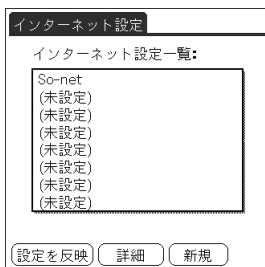
6 **27ページの手順13、14の操作を行う。**
パソコン側で行った設定が、すべてCLIEに反映されます。

複数のプロバイダやダイヤルアップ先を使い分ける

CLIEでは最大で8つの複数のプロバイダやダイヤルアップ先を設定しておき、お使いの状況に合わせて使い分けることもできます。例えば職場と自宅に最寄りのアクセスポイントの電話番号をそれぞれ登録しておいて、必要に合わせて使い分けたいときなどに便利です。

新規プロバイダやダイヤルアップ先を登録する

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［Net設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。

インターネット設定画面が表示されます。

［Net設定］アイコンをタップして、インターネット設定画面を表示することもできます。

2 ［新規］をタップする。

3 「プロバイダの資料を見てCLIEですべて設定する」（22ページ）の手順4からの操作を行って、新しいプロバイダやダイヤルアップ先を登録する。

操作が終わったら、インターネット設定画面に新しく登録したプロバイダやダイヤルアップ先が表示されていることを確認してください。

次のページにつづく

使用するプロバイダやダイヤルアップ先を切り替える

1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［Net設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

インターネット設定画面が表示されます。

［Net設定］アイコンをタップして、インターネット設定画面を表示することもできます。

2 **利用したいプロバイダやダイヤルアップ先をタップしてから、［設定を反映］をタップする。**

インターネットへの接続に使用する、プロバイダやダイヤルアップ先が切り替わります。

ネットワーク設定を変更する

設定したネットワーク設定を変更するには、以下の方法があります。

• CLIEの［Net設定］アプリケーションで変更する（このページ）
• 環境設定のネットワーク画面で変更する（「取扱説明書」Chapter7）
• Xiino、CLIE Mailの設定画面で変更する（54、86ページ）

［Net設定］で変更する

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［Net設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。

インターネット設定画面が表示されます。
［Net設定］アイコンをタップして、インターネット設定画面を表示することもできます。

2 設定を変更したいプロバイダやダイヤルアップ先をタップしてから、［詳細］をタップする。

3 必要に応じて、設定を修正する。

環境設定のネットワーク画面で変更する

CLIE本体の環境設定内の［▼ネットワーク］をタップして表示される画面で、「プロバイダの資料を見てCLIEですべて設定する」（22ページ）の手順4で設定した内容を変更できます。

Xiino、CLIE Mailの設定画面で変更する

Xiino、CLIE Mailの設定画面でも、プロキシサーバーの設定やメールの送受信に必要な設定項目を変更できます。
詳しくはXiinoとCLIE Mailの説明をご覧ください。

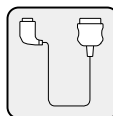
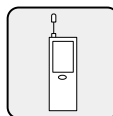
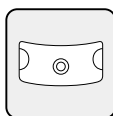
Chapter 2

ホームページを見る（Xiino（ジーノ））

Xiino（ジーノ）は、CLIE用のホームページ閲覧用アプリケーション（Webブラウザ）です。インターネットに接続してホームページを見たり、インターネット上のデータをCLIEに保存したりすることができます。
パソコンにインストールしたXiino Cruiserを使って、パソコンでホームページのデータを次々に保存して、そのデータをCLIE上で楽しむこともできます。なお、Xiinoは株式会社イリンクスの製品です。この製品に関するお問い合わせは、株式会社イリンクスのホームページ
http://www.ilinx.co.jp/ をご覧ください。

この章で使うアプリケーション／ソフトウェア

CLIE：Xiino Ver.1.0SJ/Xiino Converter 1.0SJ
パソコン：Xiino Cruiser Ver.1.0J

CLIE本体の他に必要なもの

Chapter 2**は、**Chapter 1**の「インターネットへの接続」の準備がすべて終わっている前提で書かれています。まだ準備が終わっていない場合は、**12**ページの手順に従って、インターネットへ接続する準備をしてください。**

ホームページ閲覧環境について

2つのホームページ閲覧アプリケーションが付属しています

CLIEには、「Webクリッピング」アプリケーションと、「Xiino」アプリケーションの、2つのホームページ閲覧アプリケーションが付属しています。

Webクリッピング（Palm OS標準）

Webクリッピングは、Palm, Inc.およびその子会社が提供するPalm OS搭載ハンドヘルドで気軽にWebコンテンツにアクセスするためのシステムです。
CLIEにWebクリッピングアプリケーションをインストールすると、お天気、レストラン情報、ニュースなど、あらかじめ用意された情報に簡単にアクセスすることができます。使いかたと製品についてのお問い合わせは、下記のホームページをご覧ください。
http//:www.palm-japan.com/webclipping/

付属のCD-ROMの［PC_Applications］-［Web Clipping］フォルダにWebクリッピングアプリケーションが収録されています。上記のホームページとあわせてご利用ください。

Xiinoアプリケーション

あとからHotSyncでCLIEにインストールする必要があるため、お買い上げ時はホーム画面にアイコンが表示されていません。
パソコン用に制作されたホームページも、文章の配置や画像の大きさがCLIEの画面にあわせて自動変換されるので、パソコンとほとんど変わらない操作感覚をCLIEで実現できます。
本書でのホームページ閲覧のしかたは、すべてXiinoを使った操作の手順で説明しています。

ホームページ閲覧アプリケーションについてのご注意

ハードリセットすると

Webクリッピングだけが残り、Xiinoは消えてしまいます。Xiinoをお使いの場合は、ハードリセット後にXiinoを再インストールしてください。

Xiinoでできること

Xiinoは、CLIE用のホームページ閲覧用アプリケーション（Webブラウザ）です。インターネットに接続してホームページを見たり、インターネット上のデータをCLIEに保存（ダウンロード）したりすることができます。

いろいろなホームページを快適に閲覧できます

パソコン用に制作されたホームページも、文章の配置や画像の大きさがCLIEの画面にあわせて自動変換されるので、パソコンとほとんど変わらない操作感覚をCLIEで実現できます。また、i-modeやJ-Sky用の特殊文字を使ったホームページも閲覧できます。

ご注意

一部のJavaScriptには対応していますが、Macromedia Flash形式のアニメーションや、RealAudioなどのストリーミング形式の音声や動画、JavaAppletなどには対応していません。

通信費用を節約するさまざまな機能を用意しています

以下のような機能で操作の手間を省き、通信時間を短縮できます。

- **オフラインブラウズ機能：**インターネットに接続していない状態でも、CLIEのメモリに保存したホームページを閲覧できます。
- **自動巡回機能：**あらかじめホームページのアドレスを指定しておき、インターネットに接続したときに次々にアクセスしてCLIEのメモリに保存します。まとめて保存してからインターネットへの接続を切断すれば、保存したページをあとでゆっくり楽しめます。

ホームページの「チャンネル」機能を利用できます

CLIE Plaza!などの一部のホームページでは、複数のホームページを「チャンネル」データとして、まとめて提供するサービスがあります。このサービスを利用すれば、1度にたくさんのページを楽しめます。
また、「チャンネル」のデータを“ メモリースティック ”にコピーして、友達とデータを簡単に交換することもできます。

インストールする

CLIEにインストールする

Xiinoはパソコンからインストールします。
付属のCD-ROMでCLIE Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続してください。

1 Windows**のデスクトップの**［CLIE Palm Desktop］**アイコンをダブルクリックする。**
CLIE Palm DeskTopが起動します。

2 **［インストール］をクリックする。**

3 **ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**

4 **［追加］をクリックする。**
Add-onフォルダが選ばれていることを確認します。
選ばれていないときは手動で表示させます。
Add-onフォルダは、標準ではハードディスクの「Program Files」内の「Sony PDA」フォルダ内にあります。

5 Add-on**フォルダの中から「**Xiino**」フォルダをダブルクリックする。**

6 ［XiinoS-J.prc］**をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」にXiinoが追加されます。

7 **［終了］をクリックする。**

8 **クレードルの**HotSync**ボタンを押す。**
HotSyncが始まり、XiinoがCLIEに転送されます。

パソコンにインストールする

付属のインストールCD-ROMに収録されている、パソコン用のXiino Cruiserソフトウェアをインストールします。Xiino Cruiserをパソコンにインストールすると、パソコンでお気に入りのホームページを自動巡回して、収集したファイルをCLIEに取り込めます。

ご注意

Palmscape CruiserソフトウェアとXiino Cruiserソフトウェアを併用することはできません。お使いのパソコンに、すでにPalmscape Cruiserがインストールされている場合は、必ず削除（アンインストール）してください。削除は、必ずXiino Cruiserのインストーラ画面で行ってください。Windowsのコントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」で削除すると、完全に削除されない場合があります。

1 **パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。**
CD-ROMが認識されると、インストーラの起動画面が表示されます。

2 **［ネットワークにつなぐ］をクリックする。**

3 **［Xiino Cruiserのインストール］をクリックする。**
Xiino Cruiserソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが終了すると、インストーラの起動画面に戻ります。

4 **［終了］をクリックする。**

Xiino Cruiserを起動する

［スタート］メニューから［プログラム］－［Xiino］－［Xiino Cruiser］をクリックする。

Xiino Cruiserの使いかたについて詳しくは、オンラインマニュアルをご覧ください（52ページ）。

ホームページを見る

ここでは「ソニーCLIE」のホームページを見るための手順を例にして、ホームページを見るための基本的な手順を説明します。この説明は「インターネットに接続する」(11ページ)で必要な設定が終わっていることを前提として書かれています。

1 CLIE**に別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話を接続する。**

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［Xiino］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

［Xiino］アイコンをタップして、Xiinoを起動することもできます。

Xiinoが起動します。

工場出荷時は上記の画面が表示されますが、CLIEでISP契約した場合は、ISP契約画面の最後の画面が表示されます。

3 画面下部の［選択］をタップする。

選択画面が表示されます。

4 ［ブック（ブックマーク）］タブをタップする。

あらかじめ登録されているホームページの一覧が表示されます。

5 ［クリエ ホームページ］をタップする。

インターネットに接続し、「クリエ ホームページ」が自動的に表示されます。

6 リンク先のホームページを見たいときは、ジョグダイヤルを回す。

ジョグダイヤルを回すごとに、リンクの選択が切り替わります。

見たいリンクを選んでから、ジョグダイヤルを押します。

画面に表示されない範囲を見る

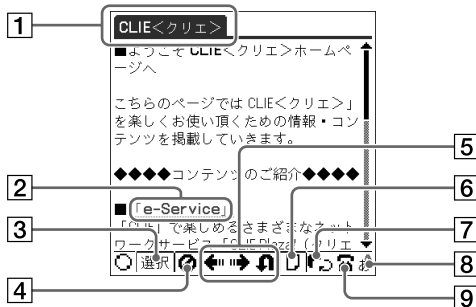
ジョグダイヤルを回すと、画面が上下にスクロールします。
他のページへのリンクが設定されている部分があるときは、リンクの選択が切り替わってから、画面がスクロールします。

前に見たページに戻る／あとに見たページに進む

(戻る) または (進む) をタップします。
または、ジョグダイヤルを押しながら回します。
BACKボタンを押して戻ることもできます。

ページの読み込みを途中で中止する

(中止) をタップします。

画面の見かた

1 **タイトル表示**

ホームページのタイトルが表示されます。

2 **リンク**

リンクが設定されているテキストは、下線付きで表示されます。また、画像にリンクが設定されていることもあります。

3 **[選択]ボタン**

選択画面を開きます。

4 **（中止）ボタン**

ホームページやデータの読み込みを中止します。

5 **ブラウズボタン**

ホームページの画面を切り替えます。詳しくは40ページをご覧ください。

6 **（情報）ボタン**

現在表示しているホームページの詳細情報を表示します。

チャンネルを表示しているときは、チャンネルの情報を表示します。チャンネルについて詳しくは、オンラインマニュアルをご覧ください。

7 **（巡回）ボタン**

自動巡回を実行します。詳しくは、51ページをご覧ください。

8 入力モード表示

現在の文字入力モードを表示します。

9 ☎（電話）アイコン

インターネットへの接続状態を示します。また、インターネットへの接続や切断を行います。

- ：インターネットに接続している状態（オンライン）
- ☎：インターネットに接続していない状態（オフライン）

アドレスを入力して好みのホームページを見る

ホームページのアドレス（URL）を入力してホームページを見るには、以下の手順で操作します。

1 **38ページの手順1〜2を行う。**

2 **画面下部の［選択］をタップする。**

選択画面が表示されます。

3 **［URL］をタップする。**

「URLを開く」画面が表示されます。

4 **見たいホームページのアドレスを入力する。**

「http://」から入力してください。

また、画面右下の をタップして、表示されたメニューから「www.」や「ne.jp」といった定型句をすばやく入力することもできます。

5 **［開く］をタップする。**

指定したURLのホームページが表示されます。

「〜」（チルダ）を入力するには

- アドレスのURLに含まれる「˜」（チルダ）を入力するには、英数字キーボードを表示させてから、 （Shiftキー）をタップして、［~］をタップします。
- CLIEで表示される「~」（チルダ）は、パソコン上で表示される「˜」と見た目が異なります。アドレスなどを入力するときにご注意ください。

お気に入りのページを登録する（ブックマーク）

よく見るホームページのアドレスを登録しておけば、次に見るときにアドレスを入力する必要がなくなります。この機能をブックマーク（しおり）と呼び、Xiinoでは最大で32,000件のブックマークを登録できます。

ご注意

CLIE本体のメモリの空き容量によって、登録できるブックマークの件数は変わります。

お気に入りのページを登録する

現在表示しているホームページを登録する

1 登録したいページを表示する。

2 （メニュー）をタップして、［ページ］－［ブックマークに追加］をタップする。

現在表示しているホームページがブックマークに登録されます。

ページ詳細情報画面からも登録できます

をタップして表示される「このページについて」画面で［ブックマークに追加］をタップしても、ブックマークに登録できます。

登録したいページのURLを直接入力して登録する

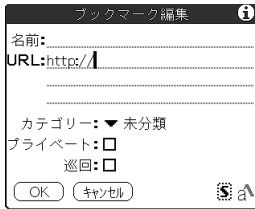
1 画面下部の［選択］をタップする。

選択画面が表示されます。

2 ［ブック（ブックマーク）］タブをタップする。

登録されているブックマークの一覧が表示されます。

3 **［新規］をタップする。**

ブックマーク編集画面が表示されます。

4 **登録したいホームページのタイトルとURLを入力する。**

「http://」から入力してください。

また、 をタップして、表示されたメニューから「www.」や「ne.jp」といった定型句をすばやく入力することもできます。

5 **［OK］をタップする。**

入力したURLがブックマークに登録されます。

「〜」（チルダ）を入力するには

- アドレスのURLに含まれる「˜」（チルダ）を入力するには、英数字キーボードを表示させてから、（Shiftキー）をタップして、［~］をタップします。
- CLIEで表示される「~」（チルダ）は、パソコン上で表示される「˜」と見た目が異なります。アドレスなどを入力するときにご注意ください。

登録したホームページを見る

登録しておいたホームページを見るには、以下の手順で操作します。

1 **「ホームページを見る」（38ページ）の手順1〜2を行う。**

2 **画面下部の［選択］をタップする。**

選択画面が表示されます。

3 **［ブック（ブックマーク）］タブをタップする。**

登録したホームページの一覧が表示されます。

4 **見たいホームページをタップする。**

指定したホームページが表示されます。

登録したホームページを管理する

登録したホームページの名前を内容がわかりやすいように修正したり、不要になったホームページを削除したりできます。

登録したホームページの内容を編集する

ホームページの名前などの情報を、わかりやすいように修正できます。

1 **画面下部の［選択］をタップする。**
選択画面が表示されます。

2 **［ブックマーク］タブをタップする。**
登録したホームページの一覧が表示されます。

3 **編集したいブックマークの をタップする。**
ブックマーク編集画面が表示されます。

4 **必要な編集を行う。**

5 **［OK］をタップする。**
編集した内容がブックマーク編集画面に反映されます。

登録したホームページを削除する

不要になったホームページの登録を削除できます。

1 **画面下部の［選択］をタップする。**
選択画面が表示されます。

2 **［ブックマーク］タブをタップする。**
登録したホームページの一覧が表示されます。

3 **削除したいホームページの をタップする。**
ブックマーク編集画面が表示されます。

4 **［削除］をタップする。**
ホームページの削除画面が表示されます。

5 **［OK］をタップする。**
選んだホームページが登録から削除されます。

パソコンで巡回収集したホームページを見る

ここでは、37ページでパソコンにインストールしたXiino Cruiserソフトウェアの説明をします。Xiino Cruiserは、ホームページをパソコンで巡回収集し、CLIEでの表示に最適化したデータに変換するソフトウェアです。

巡回収集とは？

あらかじめ見たいホームページのアドレス（URL）を指定してからインターネットに接続して、指定したホームページのデータを次々に保存することです。こうして巡回収集したホームページはあとでゆっくり閲覧できるので、インターネットへの接続時間を短縮できます。
この機能を利用すると、例えば「朝一番で巡回収集したニュースのホームページをCLIEに送り、出勤時に持ち出して電車の中で読む」といった使いかたもできます。

巡回先を指定する

Xiino Cruiserの巡回先を指定します。

1 ［スタート］メニューから［プログラム］-［Xiino］-［Xiino Cruiser］をクリックする。
Xiino Cruiser が起動して、「巡回設定ウィンドウ」が表示されます。

2 ［編集］メニューから［新規URL作成］を選ぶ。
Webサイト設定画面が表示されます。

3 ホームページ名とURLを入力する。

4 「巡回する深さ」（指定したURLからリンクされているページを何段階まで取得するか）を、指定する。
「1」を選ぶと、指定したURLのページだけを取得します。

5 ［設定］をクリックする。
入力したサイトが巡回先として登録されます。

Internet Explorer4.0以上またはNetscape Navigator4.0以上をお使いの場合は

上記の手順1で表示された「巡回設定ウィンドウ」に、URLを直接ドラッグ＆ドロップして、巡回先のサイトとして指定することもできます。

次のページにつづく

ご注意

- Xiino Cruiserを使うには、パソコンにMicrosoft Internet Explorer4.0以降がインストールされている必要があります。
- 上記の手順4で「巡回する深さ」の数値が大きくなるほど、ファイルの容量は大きくなります。ホームページによっては「巡回する深さ」を「4」に設定すると、1000ページにおよぶこともあり、サーバや受け取り側に負担がかかります。CLIEの空きメモリ容量がファイルの容量よりも小さい場合は、CLIEにファイルを転送できません。
- Xiino Cruiserで取得できる範囲は同一のWebサイト内のリンクだけです。他のサイトへのリンクが設定されていても、取得を行いません。
  例：巡回先として指定したSo-netのページからソニーのサイトへのリンクがあっても、ソニーのページは取得せず、So-netのサイト内のページのみ取得します。

パソコンのWebブラウザに登録しているブックマーク（お気に入り）を、そのまま巡回先として使用することもできます

Microsoft Internet Explorer4.0以上の場合
Xiino Cruiserを起動し、［表示］メニューから［「お気に入り」の表示］をクリックして選び、登録したブックマークをXiino Cruiserにドラッグ＆ドロップします。

Netscape Navigator4.0以上の場合
Netscape Navigatorを起動し、［Communicator］メニューから［ブックマーク］-［ブックマークの編集］をクリックして選び、登録したブックマークをXiino Cruiserにドラッグ＆ドロップします。

巡回先を削除するには

1 **「巡回設定ウィンドウ」で削除したい巡回先を選ぶ。**

2 **［編集］メニューから［削除］を選ぶ。**
確認画面が表示されます。

3 **［はい］をクリックする。**
選んだサイトが巡回先から削除されます。

削除をやめるときは
上記の手順3で［いいえ］をクリックします。

ホームページを巡回収集する

1 **［スタート］メニューから［プログラム］**-［Xiino］-［Xiino Cruiser］**をクリックする。**
Xiino Cruiser が起動して、「巡回設定ウィンドウ」が表示されます。

2 **巡回したいサイト名のチェックボックスをクリックしてチェックをつける。**
同時に複数のサイトにチェックをつけることができます。

3 **画面右下の［Go!!］をクリックする。**
「ただいま巡回中！」画面が表示され、自動的に指定された巡回先のページを収集します。
進行状況は画面下に表示されます。

収集したページをCLIEに転送して、表示する

1 CLIE**をクレードルに取りつけて、クレードルの**HotSync**ボタンを押す。**
HotSyncが始まり、収集したホームページがCLIEに転送されます。
CLIEにホームページを転送すると、ホーム画面に［Xiino Cuiser］アイコンが表示されるようになります。

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して**［Xiino Cruiser］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**
Xiinoが起動します。

3 **見たいページをタップする。**
取得したページの内容が表示されます。

Xiinoを起動して収集したページを表示させることもできます

1 **上記の手順**1**を行い、ホームページを**CLIE**に転送する。**

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して**［Xiino］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**
Xiinoが起動します。

3 **画面下部の［選択］をタップする**

4 **［ファイル］をタップしてから、▼をタップして**［Cruiser］**を選び、表示したいホームページをタップする。**

CLIEで巡回収集してホームページを見る

Xiinoで巡回したいホームページを指定しておき、まとめて巡回することもできます。

巡回先を指定する

1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［Xiino］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**
［Xiino］アイコンをタップして、Xiinoを起動することもできます。

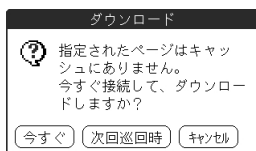
2 **画面下部の［選択］をタップする。**
選択画面が表示されます。

3 **［ブック▼（ブックマーク）］タブをタップする。**
登録されているブックマークの一覧が表示されます。

4 **巡回したいサイトの をタップする。**
ブックマーク編集画面が表示されます。

5 **［巡回］の□をタップして、☑にする。**

6 **［OK］をタップする。**
選んだブックマークの右側に表示されている が に変わっていることを確認してください。

7 **巡回を設定したブックマークをタップする。**
ダウンロード画面が表示されます。

［次回巡回時］をタップすると、「このページについて」の表示に （巡回予約マーク）がつきます。

8 **［閉じる］をタップする。**

巡回収集する

1 CLIE**に別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話を接続する。**

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

2 **（巡回）をタップする。**

インターネットに接続し、巡回予約されているページを次々に読み込んでCLIE本体のメモリに保存します。

巡回収集したホームページを見る

1 **画面下部の［選択］をタップする。**

選択画面が表示されます。

2 **［キャッシュ］タブをタップする。**

巡回収集したホームページの一覧が表示されます。

巡回収集したホームページでまだ閲覧していないページには が表示されます。

3 **見たいホームページをタップする。**

巡回収集したホームページが表示されます。

オンラインマニュアルの見かた

XiinoおよびXiino Cruiserの詳細な情報は、付属CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載されています。なお、オンラインマニュアルを見るには、Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
自動的にインストール画面が表示されます。

2 **［終了］をクリックする。**

3 **［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**

4 **CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［開く］を選ぶ。**

5 **「Manuals」フォルダをダブルクリックする。**

6 **「Xiino Manual.pdf」または「Xiino Cruiser Manual.pdf」をダブルクリックする。**
オンラインマニュアルが表示されます。

Acrobat Readerがインストールされていないときは

上記の手順2のあとに、「PC_Applications」－「Acrobat」フォルダを開いてから「AR500JPN.exe」をダブルクリックして、Acrobat Readerをパソコンにインストールしてください。

Xiinoのメニュー項目

ここでは、Xiino固有のメニュー項目を説明します。
CLIEのアプリケーションに共通のメニュー項目については、CLIE本体取扱説明書の「共通メニュー項目」をご覧ください。

「ページ」メニュー

情報	現在表示しているホームページについての情報を表示します。
画像をロード	画像付きのホームページを取得、表示します。 ［オプション］メニューの［設定］－［画像をロード］が［ユーザー指定］に設定されているときに使用します。また、［Net設定］アプリケーションでこの項目を設定することもできます。 詳しくは、25ページの手順9をご覧ください。
ブックマークに追加	現在表示しているホームページのアドレスを、ブックマークに追加します。
MSへ移動	現在表示しているホームページの内容を、“メモリースティック”に移動して、CLIE本体のメモリから削除します。
MSへコピー	現在表示しているホームページを“メモリースティック”に保存します。
メモに保存	現在表示しているホームページの内容を、メモ帳のデータとして保存します。メモ帳を起動すると、保存されたページの内容を確認できます。
削除	CLIE本体のメモリ上に保存されているホームページを表示しているときに、本体のメモリから表示中のホームページを削除します。
このページの検索	表示中のホームページ内の文字を検索します。 「ページの検索」画面が表示されるので、検索したい文字列を入力して［OK］タップします。 検索結果一覧から見たい項目をタップすると、検索した画面が表示されます。

次のページにつづく

Xiinoのメニュー項目

電源オフ*	CLIEの電源を切ります。
検索*	検索画面が表示されます。

*ジョグアシスト機能を使用しているときのみ。

「オプション」メニュー

フォント	表示する文字の書体（フォント）を、次の2種類から選べます。 • **スモール＆ラージ：**CLIE上でホームページのフォントの大きさ指定を再現します。よりパソコンに近い表示が可能です。 • **ラージ＆ラージ：**CLIE上でホームページのフォントの大きさ指定を再現しません。
設定	必要な設定を行います。 • **文字コード：**ホームページを表示するための文字コード（符号化形式）を選びます。通常は「日本語（自動）」を選びます。 • **キャッシュ：**ホームページを本体に保存するメモリ容量を指定します。 • **プロキシ：**契約しているプロバイダがプロキシ（代理）サーバーを指定しているときは、httpの☐をタップして☑にして、アドレス（例：proxy.clie.co.jp）とポート番号（例：80）を入力します。 • **その他設定** – **時間帯：**CLIEを使用する場所の時間帯を選びます。日本国内で使用するときは、「+9:00」を選びます。 – **ヒント：**アイコンやリンクをタップしたときに説明などを表示するようにしたいときは、タップしてチェックをつけます。

- **画像をロード：**画像の読み込むかどうかを指定します。
  – **常にロード：**常に画像を読み込みます。
  – **ユーザー指定：**通常は画像を省略して読み込み、あとで読み込みたい画像だけを指定できます。
  – **サーバ：**この項目を書き換えると、画像を取得できなくなる可能性があります。標準では、画像を取得するためのXiino用プロキシ（代理）サーバのアドレス「pds.ilinx.co.jp」が設定されています。
  画像表示用プロキシの最新情報については、Xiinoのサポートページ（http://www.ilinx.co.jp/）をご覧ください。
- **セキュリティ：**安全性に関する設定を行います。
  – **クッキー：**接続時に認証を行うためのデータ（クッキー）を受け入れるかどうかを選びます。［警告する］を選んだときは、現在見ているページがクッキーを発行すると、受け入れるかどうかの確認画面が表示されます。
  – **スクリプト：**ホームページ上の簡易プログラム（スクリプト、XiinoではJavaScriptのみ対応）を実行するかどうか選びます。
  – **ローカル：**CLIEで実行できる形式のアプリケーション（.prcまたは.pdb形式のファイル）をダウンロードするかどうかを選びます。［警告する］を選んだときは、CLIEに読み込んで保存／実行するかどうかの確認画面が表示されます。

- **巡回設定：**自動巡回する範囲を設定します。
  - **予約したページ：**予約したページを自動巡回します。
  - **予約＋巡回：**巡回を指定しているホームページとチャンネル、予約したページを自動巡回します。
- **巡回後に切断：**自動巡回した後に接続を自動的に切断したいときは、□をタップして☑にします。
- **ページの表示：**ホームページのリンクやブックマークをタップしたときに、Xiino内に保存されているホームページ（キャッシュデータ）を優先して利用するかどうかを設定します。
  - **毎回確認：**リンク先またはブックマークされたページのデータを読み込んで表示します。新しいページを読み込むために毎回必ず接続するので、電話料金がかかります。ただし、ニュース記事のページのように、一日に何度も更新されるようなホームページを見るときは、この設定をおすすめします。
  - **キャッシュを優先：**Xiinoのキャッシュデータを確認して、リンク先またはブックマークされたページのデータが残っているときは、キャッシュデータを表示します。
- **証明書：**SSL（Secure Socket Layer）で暗号化通信を行ったホームページのアドレスが表示されます。なお、オンラインショッピング中などにSSLで暗号化されたデータをやり取りしているときは、画面右上に🔒が表示されます。

ホームページによっては、SSLによる認証機能を正しくご使用になれない場合があります。正しくご使用になれないSSL対応ホームページがある場合には、株式会社イリンクスのホームページをご覧ください。

接続設定	環境設定の接続画面を表示します。 詳しくは、CLIE本体取扱説明書の「通信モデムの設定を変更する」をご覧ください。
ネットワーク接続	環境設定の接続画面を表示します。 詳しくは、CLIE本体取扱説明書の「ネットワークの接続設定を編集する」をご覧ください。
インターネット設定	インターネット設定画面を表示します。 詳しくは、「ネットワークの設定をする」（22ページ）をご覧ください。
メモリのクリア	CLIE本体のメモリに保存されているチャンネル、キャッシュ、Cruiser、履歴、クッキーの削除画面が表示されます。削除したい内容だけを選んで、メモリから削除できます。
コンテンツサービス	コンテンツサービスの登録画面が表示されます。 必要事項を入力してから［登録］をタップすると、インターネットに接続して登録が行われます。 CLIEに別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話／PHSを接続してから、ご利用ください。コンテンツサービスについて詳しくは、オンラインマニュアルをご覧ください。
Xiino**について**	Xiinoのバージョン情報を表示します。

PalmscapeのデータをXiino用に更新する

すでに、CLIE用ホームページ閲覧用アプリケーションPalmscape Ver.3.0SJ/3.1.1SJ/4.0SJをお使いの場合、付属のCD-ROMに収録されているXiino Converter Ver.1.0Jを使って、CLIE本体のメモリまたは“メモリースティック”内に保存してあるホームページ（キャッシュデータ）をXiino Ver.1.0SJで見られる形式に更新することができます。

Xiino Converter Ver.1.0SJをCLIEにインストールする

Xiino Converterはパソコンからインストールします。
付属のCD-ROMでCLIE Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続してください。

1 Windows**のデスクトップの**［CLIE Palm Desktop］**アイコンをダブルクリックする。**
CLIE Palm DeskTopが起動します。

2 ［インストール］をクリックする。

3 ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。

4 ［追加］をクリックする。
Add-onフォルダが選ばれていることを確認します。
選ばれていないときは手動で表示させます。
Add-onフォルダは、標準ではハードディスクの「Program Files」内の「Sony PDA」フォルダ内にあります。

5 Add-on**フォルダの中から「**Xiino**」フォルダをダブルクリックする。**

6 ［XiinoConvS-J.prc］**をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」にXiinoが追加されます。

7 ［終了］をクリックする。

8 クレードルの HotSync**ボタンを押す。**
HotSyncが始まり、Xiino ConverterがCLIEに転送されます。

キャッシュデータを更新する

Palmscapeのホームページデータ（キャッシュ）をXiino用に更新します。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［Xiino Conv］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

［Xiino Conv］アイコンをタップして、Xiinoを起動することもできます。

2 ［内蔵メモリ］または［MS］**の▼をタップして、［更新する］を選ぶ。**

3 ［更新］をタップする。

キャッシュが更新されます。

ご注意

更新されたキャッシュは、Palmscapeでは使用できません。

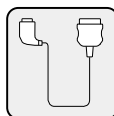
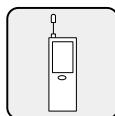
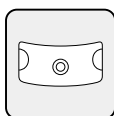
Chapter 3

メールをやりとりする（CLIE Mail）

CLIE Mailは、CLIE用の電子メールアプリケーションです。
別売りのモバイルコミュニケーションアダプターを使って、お持ちの携帯電話やPHSをCLIEにつなぎ、CLIEで電子メールをやり取りできます。
また、パソコンで管理している電子メールをCLIEに送って、外出先でメールを読んだり、メールの返事を書いたりすることもできます。その他にも電子メールを快適に使うために必要な、さまざまな機能を用意しています。

この章で使うアプリケーション／ソフトウェア

CLIE：CLIE Mail Ver.1.1
パソコン：CLIE Mail Conduit Ver.1.1／**電子メールソフトウェア**

CLIE本体の他に必要なもの

Chapter 3**は、**Chapter 1**の「インターネットへの接続」の準備がすべて終わっている前提で書かれています。まだ準備が終わっていない場合は、**12**ページの手順に従って、インターネットへ接続する準備をしてください。**

CLIEの電子メール環境について

2つの電子メールアプリケーションが付属しています

CLIEには、Palm OS標準の「メール」アプリケーションとソニー製の「CLIE Mail」アプリケーションの、2つの電子メールアプリケーションが付属しています。

メールアプリケーション（Palm OS標準）

ホーム画面に標準で表示されている「メール」アイコンをタップすると、標準のメールが起動します。
パソコンで送受信したメールを持ち歩けますが、**CLIEでメールを送受信できません。**

CLIE Mailアプリケーション（ソニーオリジナル）

あとからHotSyncでCLIEにインストールする必要があるため、お買い上げ時はホーム画面にアイコンが表示されていません。
CLIEに別売りのモバイルコミュニケーションアダプターを取り付けて、携帯電話／PHSからインターネットに接続して、メールを送受信できます。
通常使う電子メールアプリケーションとしては、CLIE Mailをお使いになることをおすすめいたします。
本書での電子メールの送受信のしかたは、すべてCLIE Mail**を使った操作の手順で説明しています。**

電子メールアプリケーションについてのご注意

ハードリセットすると

標準のメールだけが残り、CLIE Mailは消えてしまいます。CLIE Mailをお使いの場合は、ハードリセット後にCLIE Mailを再インストールしてください。

CLIE Mailでできること

CLIE Mailとは、CLIE用の電子メールアプリケーションです。

いつでもどこでもメールを確認できます

別売りのモバイルコミュニケーションアダプターを使って、外出先からでも新着メールを確認できます。

パソコンの電子メールソフトウェアのメールを持ち出せます

パソコンで送受信した電子メールをCLIEに転送して、CLIEの画面で確認できます。外出先でゆっくりメールを読むだけでなく、CLIEで返事を書いておき、パソコンから送信することもできます。

複数のメールアドレスのメールを管理できます

複数のプロバイダの電子メールアドレスを使用しているときに、設定を切り替えることで複数のメールアドレスのメールを管理できます（マルチアカウント対応）。

カテゴリーに区分けして、メールを管理できます

受信や送信といった標準のカテゴリーに加えて、「仕事」「プライベート」「新プロジェクト」などのように、好みに合わせて新しいカテゴリーを作ってメールを管理できます。

メールに情報を添付できます

メールにメモ帳やアドレスの情報を添付して送ることもできます。詳しくはオンラインマニュアルをご覧ください。

CLIE Mailをインストールする

CLIEにインストールする

CLIE Mailはパソコンからインストールします。
付属のインストールCD-ROMでCLIE Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続してください。

1 **Windowsのデスクトップの［CLIE Palm Desktop］アイコンをダブルクリックする。**
CLIE Palm DeskTopが起動します。

2 **［インストール］をクリックする。**

3 **ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**

4 **［追加］をクリックする。**
Add-onフォルダが選ばれていることを確認します。
選ばれていないときは手動で表示させます。
Add-onフォルダは、標準ではハードディスクの「Program Files」内の「Sony PDA」フォルダ内にあります。

5 **Add-onフォルダの中からCLIE Mailフォルダをダブルクリックする。**

6 **［CLIE Mail.prc］をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」にCLIE Mailが追加されます。

7 **手順4〜6の操作をくり返して、同様に［CmPIAddress.prc］、［CmPIPRCPDB.prc］、［CmPIPGP.prc］、［CmPIMemo.prc］をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」にCLIE Mailの動作に必要なプラグインファイルが追加されます。

8 **［終了］をクリックする。**

9 **クレードルのHotSyncボタンを押す。**
HotSyncが始まり、CLIE MailがCLIEに転送されます。

パソコンにインストールする

付属のインストールCD-ROMに収録されている、パソコン用のCLIE Mail Conduitソフトウェアをインストールします。CLIE Mail Conduitをパソコンにインストールすると、パソコンで使用している電子メールソフトウェアのメールをCLIEに取り込めます。

1 **パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。**
CD-ROMが認識されると、インストーラの起動画面が表示されます。

2 **［ネットワークにつなぐ］をクリックする。**

3 **［CLIE Mail Conduitのインストール］をクリックする。**
インストール元の確認画面が表示されます。
CLIE Mail Conduitソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが終了すると、インストーラの起動画面に戻ります。

4 **［終了］をクリックする。**
CLIE Mail Conduitの使いかたについて詳しくは「パソコンのメールを持ち歩く」（80ページ）をご覧ください。

メールを試しに送受信してみる

メールを書いて送る

自分のメールアドレスにメールを書いて、送ってみましょう。

1 CLIE**に別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話を接続する。**

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［CLIE Mail］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

［CLIE Mail］アイコンをタップして、CLIE Mailを起動することもできます。

CLIE Mailが起動し、メール一覧画面が表示されます。

3 をタップする。

メール編集画面が表示されます。

4 メールの宛先と件名、本文を入力する。

このとき別冊の「取扱説明書」の「個人情報を管理する（アドレス）」で登録したメールアドレスを呼び出すこともできます。詳しくは68ページをご覧ください。

5 ［送信］をタップする。

メニューが表示されます。

6 すぐに送信したいときは［ただちに送信］、あとでまとめて送受信を行いたいときは［あとで送信］をタップする。

- **ただちに送信：** メールが送信されます。
- **あとで送信：** 書いたメールが「送信」カテゴリーに一時保管されます。一時保管されたメールは、あとで をタップすると送信されます。保管されたメールの内容を確認したいときは、画面右上の▼をタップして、［送信］を選びます。

次のページにつづく

書きかけのメールを送信しないで保存するには

上記の手順4のあとに［下書き］をタップします。
途中まで書いたメールは画面右上の▼をタップして、［下書き］を選ぶと内容を確認できます。

あとで送信するときは

またはをタップします。
上記の手順6で［あとで送信］をタップしたあとに一時保管されていたメールが、まとめて送信されます。

アドレスに登録してあるアドレス情報から、メールアドレスを選べます

メール編集画面で［宛先］や［CC］、［BCC］の部分をタップすると、アドレス入力画面が表示されます。このときに［アドレス参照］をタップして、アドレスで登録したアドレス情報から、メールアドレスを選べます。
アドレス参照について詳しくは、本体取扱説明書をご覧ください。

送ったメールを受信する

「メールを書いて送る」(66ページ) で自分あてに送ったメールを、CLIE Mail で受信してみましょう。

1 CLIE**に別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話を接続する。**

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して** [CLIE Mail] **アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

CLIE Mailが起動し、メール一覧画面が表示されます。

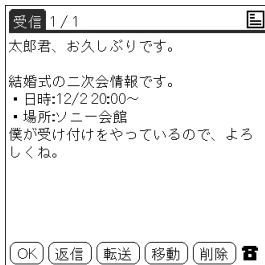
[CLIE Mail] アイコンをタップして、CLIE Mailを起動することもできます。

3 **をタップする。**

インターネットに接続し、新着メールを取得します。

新着メールが届いているときは、受信メール一覧画面に新着メールが表示されます。

4 **ジョグダイヤルを回して読みたいメールを選んでから、ジョグダイヤルを押す。**

または、読みたいメールをタップします。

メールの本文が表示されます。

画面内にメールの本文が表示しきれないときは

ジョグダイヤルを回して画面を上下にスクロールさせるか、画面右側のスクロールバーをタップします。

メールを書く／読む

受信メールに返事を書いて送る

1 CLIE**に別売りのモバイルコミュニケーションアダプタと携帯電話を接続する。**

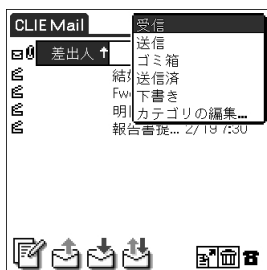
携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して**［CLIE Mail］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

CLIE Mailが起動し、メール一覧画面が表示されます。

［CLIE Mail］アイコンをタップして、CLIE Mailを起動することもできます。

3 **画面右上の▼をタップして、［受信］を選ぶ。**

受信メール一覧画面が表示されます。

4 **ジョグダイヤルを回して返事を書きたいメールを選んでから、ジョグダイヤルを押す。**

または、返事を書きたいメールをタップします。

メールの本文が表示されます。

5 ［返信］をタップする。

件名に「Re:」がついたメール編集画面が表示されます。

6 メールの本文を入力する。

7 ［送信］をタップする。

メニューが表示されます。

8 すぐに送信したいときは［ただちに送信］、あとでまとめて送受信を行いたいときは［あとで送信］をタップする。

- **ただちに送信：**メールが送信されます。
- **あとで送信：**書いたメールが「送信」カテゴリーに一時保管されます。
  一時保管されたメールは、あとで をタップすると送信されます。
  保管されたメールの内容を確認したいときは、画面右上の▼をタップして、［送信］を選びます。

書きかけのメールを送信しないで保存するには

上記の手順4のあとに［下書き］をタップします。

途中まで書いたメールは画面右上の▼をタップして、［下書き］を選ぶと内容を確認できます。

あとで送信するときは

 または をタップします。

上記の手順8で［あとで送信］をタップしたあとに一時保管されていたメールが、まとめて送信されます。

書きかけのメールの続きを書いて送る

1 CLIE**に別売りのモバイルコミュニケーションアダプタと携帯電話を接続する。**

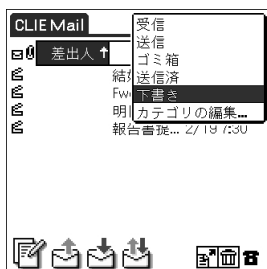
携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

2 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［CLIE Mail］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

CLIE Mailが起動し、メール一覧画面が表示されます。

［CLIE Mail］アイコンをタップして、CLIE Mailを起動することもできます。

3 画面左上の▼をタップして、［下書き］を選ぶ。

下書きメール一覧画面が表示されます。

4 ジョグダイヤルを回して続きを書きたいメールを選んでから、ジョグダイヤルを押す。

または、続きを書きたいメールをタップします。

メールの本文が表示されます。

5 メールの続きを書く。

6 ［送信］をタップする。

メニューが表示されます。

7 すぐに送信したいときは［ただちに送信］、あとでまとめて送受信を行いたいときは［あとで送信］をタップする。

- **ただちに送信：**メールが送信されます。
- **あとで送信：**書いたメールが「送信」カテゴリーに一時保管されます。一時保管されたメールは、あとで をタップすると送信されます。保管されたメールの内容を確認したいときは、画面右上の▼をタップして、［送信］を選びます。

書きかけのメールを送信しないで保存するには

上記の手順4のあとに［下書き］をタップします。

途中まで書いたメールは画面右上の▼をタップして、［下書き］を選ぶと内容を確認できます。

あとで送信するときは

 または をタップします。

上記の手順7で［あとで送信］をタップしたあとに一時保管されていたメールが、まとめて送信されます。

受信したメールを転送する

1 70ページの「**受信メールに返事を書いて送る」の手順**1〜3**を行う。**

2 **ジョグダイヤルを回して転送したいメールを選んでから、ジョグダイヤルを押す。**

または、転送したいメールをタップします。
メールの本文が表示されます。

3 **［転送］をタップする。**

件名に「Fwd:」がついたメール編集画面が表示されます。

4 **メールの転送先のアドレスを入力する。**

このとき別冊の「取扱説明書」の「個人情報を管理する（アドレス）」で登録したメールアドレスを呼び出すこともできます。詳しくは68ページをご覧ください。

5 **［送信］をタップする。**

メニューが表示されます。

6 **すぐに送信したいときは［ただちに送信］、あとでまとめて送受信を行いたいときは［あとで送信］をタップする。**

- **ただちに送信：**メールが送信されます。
- **あとで送信：**書いたメールが「送信」カテゴリーに一時保管されます。一時保管されたメールは、あとで をタップすると送信されます。保管されたメールの内容を確認したいときは、画面右上の▼をタップして、［送信］を選びます。

書きかけのメールを送信しないで保存するには

上記の手順4のあとに［下書き］をタップします。
途中まで書いたメールは画面右上の▼をタップして、［下書き］を選ぶと内容を確認できます。

あとで送信するときは

 または をタップします。
上記の手順6で［あとで送信］をタップしたあとに一時保管されていたメールが、まとめて送信されます。

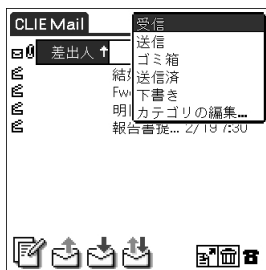
これまでに送受信したメールを読む

これまでに送受信したメールは、CLIEにカテゴリー別に保管されています。

1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［CLIE Mail］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

CLIE Mailが起動し、メール一覧画面が表示されます。

［CLIE Mail］アイコンをタップして、CLIE Mailを起動することもできます。

2 **画面右上の▼をタップして、読みたいメールが保存されているカテゴリーを選ぶ。**

選んだカテゴリーのメール一覧画面が表示されます。

- **受信：**これまでに受信したメール一覧
- **送信：** または をタップしたときに送信されるメール一覧
- **送信済：**これまでに送信したメール一覧
- **下書き：**下書き状態で保存されているメール一覧
- **ゴミ箱：**削除予定のメール一覧
- **カテゴリの編集：**メールを保存する単位（カテゴリー）を新しく登録したいときに選びます。詳しくは「好みのカテゴリーを登録して、メールを管理する」（78ページ）をご覧ください。

3 **ジョグダイヤルを回して読みたいメールを選んでから、ジョグダイヤルを押す。**

または、読みたいメールをタップします。

メールの本文が表示されます。

Chapter 3 メールをやりとりする（CLIE Mail）

メールを管理する

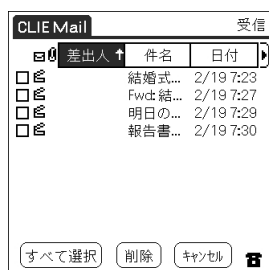
メールを削除する

1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［CLIE Mail］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

CLIE Mailが起動し、メール一覧画面が表示されます。
［CLIE Mail］アイコンをタップして、CLIE Mailを起動することもできます。

2 **画面右上の▼をタップして、削除したいメールが保存されているカテゴリーを選ぶ。**

3 **をタップする。**

一覧画面の左側に□が表示されます。

4 **削除したいメールの□をタップして、☑にする。**

5 **［削除］をタップする。**

選んだメールがゴミ箱に移動します。

6 **画面右上の▼をタップして、［ゴミ箱］を選ぶ。**

ゴミ箱内のメール一覧が表示されます。

7 □ **をタップする。**

一覧画面の左側に□が表示されます。

8 **削除したいメールの□をタップして、☑にする。**

9 **［削除］をタップする。**

確認画面が表示されます。

10 **削除を実行するときは、［OK］をタップする。**

手順8で☑にしたメールが、完全に削除されます。

削除をやめるときは

上記の手順10で［キャンセル］をタップします。

手順4で削除するために選んだメールは、ゴミ箱に保存されます。

画面右上の▼をタップして［ゴミ箱］を選ぶと、ゴミ箱内のメールを確認できます。

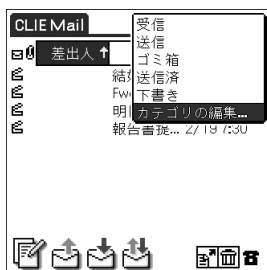
「ゴミ箱を空に」を使うと、より簡単に削除できます

前ページの手順1〜5を行ったあとに メニュー をタップして、［メール］メニューから［ゴミ箱を空に］を選ぶと、ゴミ箱内のメールをまとめて削除できます。

好みのカテゴリーを登録して、メールを管理する

好みのカテゴリーを登録する

「仕事用」や「個人用」、「新プロジェクト」など、使いかたに合わせてカテゴリーを登録できます。新しいカテゴリーを登録してから、下記の「メールをカテゴリーにまとめて管理する」の操作を行うと、メールを分類して管理することができ便利です。

1 CLIE Mail**画面右上の▼をタップして、［カテゴリの編集］を選ぶ。**

カテゴリの編集画面が表示されます。

2 **［新規］をタップする。**

「カテゴリの編集」画面が表示されます。

3 **好みのカテゴリー名を入力してから、［OK］をタップする。**

指定したカテゴリーが新しく登録されます。

4 **［OK］をタップする。**

メールをカテゴリーに区分けして管理する

ここでは例として、受信メール画面から新しく登録したカテゴリーにメールを移動する操作の手順を説明します。

1 **CLIE Mail画面右上の▼をタップして、[受信] を選ぶ。**

受信メール一覧画面が表示されます。

2 **をタップする。**

一覧画面の左側にチェックボックスが表示されます。

3 **移動したいメールの□をタップして、☑にする。**

4 **[移動] をタップして、表示されたメニューから移動先のカテゴリーを選ぶ。**

手順3で☑にしたメールが、選んだカテゴリーに移動します。

移動をやめるときは

上記の手順3のあとで [キャンセル] をタップします。

受信時にメールを自動的に振り分けるように設定できます（フィルタ）

フィルタを登録すると、特定の条件に当てはまるメールを受信しないように設定したり、受信したあとに自動的に指定したカテゴリーへ移動するように設定できます。特定の差出人から送られてきたメールや特定のメーリングリストのメールだけを振り分けることができ、便利です。詳しくは、CLIE Mailオンラインマニュアルの「メールを好みのカテゴリーに自動的に振り分ける（フィルタ）」をご覧ください。

パソコンのメールを持ち歩く

パソコンで送受信した電子メールをCLIEに転送して、CLIEの画面で確認できます。外出先でゆっくりメールを読むだけでなく、CLIEで返事を書いておき、パソコンから送信することもできます。

ちょっと一言

CLIEでメールを削除しておくと、次回のHotSync時にパソコンに保存されている同じメールが自動的に削除されるようにしたり、CLIEで読んだメールを受信カテゴリに保存しておくと、次回のHotSync時にパソコンに保存してある同じメールが開封済みになるようにするなどの設定もできます。

CLIE Mailとメールの内容を転送できる電子メールソフトウェア

CLIEのCLIE Mailとメールの内容を転送できる電子メールソフトウェアは、以下の通りです。

- Eudora 3.03 以降
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Outlook 97/98/2000

ご注意

転送する対象となるのは、受信フォルダと送信フォルダ（パソコン側）、受信カテゴリーと送信カテゴリー（CLIE Mail側）に保存されているメールのみです。それ以外の場所に保存されているメールは持ち歩けません。

パソコンの電子メールソフトウェアの設定を変更する

パソコンで送受信した電子メールを持ち歩くには、パソコンの電子メールソフトウェア側で以下の設定を行う必要があります。

Microsoft Outlook Express5.0以降の設定を変更する

1 **［スタート］をクリックしてから［設定］－［コントロールパネル］をクリックする。**
コントロールパネルが表示されます。

2 **［インターネット］アイコンをダブルクリックする。**
Windows2000をお使いの場合は、「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。
「インターネットオプション」ダイアログボックスが表示されます。

3 **［プログラム］タブをクリックする。**

4 **使用するプログラムの「メール」の欄がOutlook Express になっていることを確認する。**

5 **［OK］をクリックする。**

Eudora Proの設定を変更する

1 **パソコンでEudora Proを起動して、［ツール］メニューから［オプション］を選ぶ。**
オプション画面が表示されます。

2 **画面左側の［MAPI］をクリックする。**

3 **［Eudora MAPIサーバの使用］から［常時］を選ぶ。**

4 **［OK］をクリックする。**

ご注意

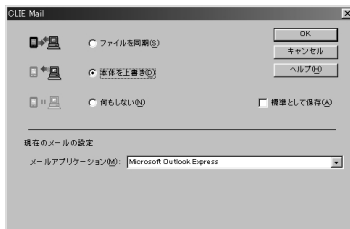
さらに詳しい設定については、オンラインマニュアルをご覧ください（85ページ）。

パソコンの同期設定を変更する

使用する電子メールソフトウェアと、CLIE Mailとのメール転送の対象となる、電子メールフォルダを指定します。

1 Windows**のデスクトップ画面で、**［CLIE Palm Desktop］**アイコンをダブルクリックするか、［スタート］をクリックしてから［プログラム］**－［Sony CLIE］－［CLIE Palm Desktop］**をクリックする。**
CLIE Palm Desktopソフトウェアが起動します。

2 ［HotSync］**メニューから［動作設定］を選ぶ。**
「HotSync 機能の動作設定」画面が表示され、画面左側のリストに、CLIE Mailが表示されます。

3 CLIE Mail**をダブルクリックする。**
またはCLIE Mailをクリックしてから、［変更］をクリックします。
「CLIE Mail」画面が表示されます。

4 **［ファイルを同期］または［本体を上書き］をクリックして選ぶ。**

5 **ドロップダウンリストをクリックして、使用する電子メールソフトウェアを選ぶ。**

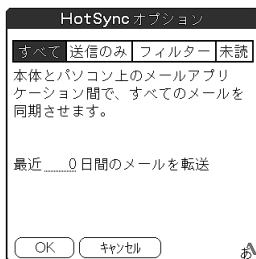
6 ［OK］**をクリックする。**
「HotSync 機能の動作設定」画面に戻ります。

7 **［終了］をクリックする。**

持ち歩くメールをCLIE側で詳細に指定する

「パソコンの同期設定を変更する」（82ページ）の手順4で［ファイルの同期］または［本体を上書き］を選んだ場合は、転送の対象となるメールをより詳細に指定できます。

1 **メール一覧画面で 　をタップして、［オプション］メニューから［HotSyncオプション］を選ぶ。**

「HotSyncオプション」画面が表示されます

2 **転送の対象となるメールの種類を選ぶ。**

- **すべて：**すべてのメールを転送して同期します。最近何日間のメールを転送するかも設定できます。
- **送信のみ：**CLIE本体の送信カテゴリー内のメールが、パソコンの電子メールソフトウェアの送信箱に転送されます。
- **フィルター：**指定した条件に当てはまるメールだけを転送します。送受信するメールの条件を指定するか、または送受信しないメールの条件を指定します。
- **未読：**パソコン上の未読メールだけをCLIE本体に転送します。最近何日間の未読メールを転送するかも設定できます。

3 ［OK］**をタップする。**

メールの内容を転送する

CLIEをクレードルに取りつけてから、クレードルのHotSyncボタンを押す。
HotSyncが始まり、パソコン側の電子メールソフトウェアとCLIE Mailのメール内容が同期されます。

オンラインマニュアルの見かた

CLIE Mailの詳細な情報は、付属CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載されています。なお、オンラインマニュアルを見るには、Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
自動的にインストール画面が表示されます。

2 **［終了］をクリックする。**

3 **［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**

4 **CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［開く］を選ぶ。**

5 **「Manuals」フォルダをダブルクリックする。**

6 **「CLIE Mail Manual.pdf」をダブルクリックする。**
オンラインマニュアルが表示されます。

Acrobat Readerがインストールされていないときは

上記の手順2のあとに、「PC_Applications」－「Acrobat」フォルダを開いてから「AR500JPN.exe」をダブルクリックして、Acrobat Readerをパソコンにインストールしてください。

CLIE Mailのメニュー項目

ここでは、CLIE Mail固有のメニュー項目を説明します。
本機のアプリケーションに共通のメニュー項目については、CLIE本体取扱説明書の「共通メニュー項目」をご覧ください。
また、表示している画面によって利用できる項目が異なりますので、ご注意ください。

メール一覧画面

「メール」メニュー

ゴミ箱を空に	ゴミ箱画面に表示されているメールを、すべて削除します。
電源オフ*	CLIEの電源を切ります。
検索*	検索画面が表示されます。

*ジョグアシスト機能を使用しているときのみ。

「オプション」メニュー

アカウント設定	サーバー設定画面を表示します。
一般設定	一般設定画面を表示します。 • **サーバのタイムアウト：**メールサーバーへの接続がうまくいかないときに、何秒まで待つかを指定します。 • **送受信後に切断：**メールを送受信したら、すぐにインターネットへの接続を切断します。 • **終了後に切断：**1度インターネットに接続したら、CLIE Mailを終了するまで接続した状態を保ちます。 • **リダイヤル：**リダイヤルの回数を設定します。
署名設定	署名設定画面を表示します。 詳しくは、CLIE Mailオンラインマニュアルの「署名を利用する」をご覧ください。

表示設定	表示設定画面を表示します。 件名、差出人、日付をメール一覧画面で表示するかしないかを設定できます。表示したい項目の☐をタップして、☑にします。
フィルタ設定	フィルタ設定画面を表示します。 詳しくは、CLIE Mailオンラインマニュアルの「メールを好みのカテゴリーに自動的に振り分ける（フィルタ）」をご覧ください。
HotSync**オプション**	CLIEとパソコンのメール同期の動作について、詳細な設定を行います。詳しくは83ページをご覧ください。

メール表示画面

「オプション」メニュー

最上部へ	メールの最初の行を表示します。
最下部へ	メールの最後の行を表示します。

アドレス編集画面

「オプション」メニュー

アドレス参照	アドレス参照画面を表示します。

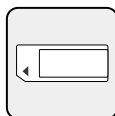
Chapter 4

静止画を持ち出す（PictureGear Pocket）

PictureGear PocketはCLIE用の画像アルバムアプリケーションです。デジタルカメラで撮影した静止画やインターネットからダウンロードした画像など、いろいろな静止画をCLIEに保存しておけば、いつでもどこでもお気に入りの画像が見られます。
クレードルにCLIEを取り付けて画像を表示させれば、CLIEをフォトスタンドのように使うことができます。

この章で使うアプリケーション／ソフトウェア

CLIE：PictureGear Pocket Ver.2.0/PhotoStand Ver.1.0
パソコン：PictureGear 4.4Lite

CLIE本体の他に必要なもの

PictureGear Pocketでできること

PictureGear PocketはCLIE用の画像アルバムアプリケーションです。

いつでもどこでも画像を楽しめます

デジタルカメラで撮影した静止画やインターネットからダウンロードした画像など、いろいろな静止画をCLIEに保存しておけば、いつでもどこでもお気に入りの画像が見られます。

フォトスタンドや置き時計として使う

CLIEをクレードルに取り付け、フォトスタンド機能で指定した画像を表示。
パソコンなどで制作したイラストやデジタルスチルカメラで撮影した画像などを、CLIEで鑑賞することができます。
フォトスタンド機能では現在時刻を表示できる機能もあり、CLIEを置き時計として使うこともできます。

気に入った画像を送る

赤外線通信機能を使えば、CLIE同士で手軽に画像を交換できます。

アドレス情報に画像を貼り付ける

次ページからの説明に従ってCLIEに画像を保存しておくと、アドレス情報に画像を貼り付けられます。詳しくは本体取扱説明書の「個人情報を管理する」内の「住所や電話番号を管理する（アドレス）」をご覧ください。

インストールする

CLIEにPictureGear Pocketをインストールする

PictureGear Pocketはパソコンのハードディスクからインストールできます。付属のインストールCD-ROMでCLIE Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続してください。

1 Windows**のデスクトップの**［CLIE Palm Desktop］**アイコンをダブルクリックする。**
CLIE Palm DeskTopが起動します。

2 **［インストール］をクリックする。**

3 **ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**

4 **［追加］をクリックする。**
Add-onフォルダが選ばれていることを確認します。
選ばれていないときは手動で表示させます。
Add-onフォルダは、標準ではハードディスクの「Program Files」内の「Sony PDA」フォルダ内にあります。

5 Add-on**フォルダの中から**PictureGear Pocket**フォルダをダブルクリックする。**

6 ［PGPocket_J.prc］**をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」に「PGPocket_J.prc」が追加されます。

7 **手順**4〜6**の操作をくり返して、同様に**［PhotoStand.prc］**と**［PSLaunch.prc］**をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」にフォトスタンド機能に必要なファイルが追加されます。

8 **［終了］をクリックする。**

9 **クレードルの**HotSync**ボタンを押す。**
HotSyncが始まり、PictureGear PocketがCLIEに転送されます。

パソコンにPictureGear 4.4Liteをインストールする

PictureGear 4.4Liteを使って、パソコン上で動画や静止画をCLIE用に変換できます。変換した動画や静止画をCLIEで楽しむには、PictureGear PocketやgMovieなどのアプリケーションを使います。
付属のインストールCD-ROMに収録されている、パソコン用のソフトウェアをインストールします。

1 **パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。**
CD-ROMが認識されると、インストーラの起動画面が表示されます。インストーラが起動しない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをクリックして、Setup.exeをダブルクリックします。

2 **［動画、静止画を見る］をクリックする。**

3 **［PictureGear4.4Liteのインストール］をクリックする。**

4 **［はい］をクリックする。**
PictureGear 4.4Liteソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが終了すると、インストーラの起動画面に戻ります。

5 **［終了］をクリックする。**

PictureGear 4.4Liteを起動する

［スタート］メニューから［プログラム］－［PictureGear 4.4Lite］－［PictureGear 4.4Lite］をクリックする。

PictureGear 4.4Liteの使いかたについて詳しくは、PictureGear 4.4Liteのヘルプをご覧ください。

パソコンの画像をCLIEで見る

デジタルスチルカメラで撮影した画像や、ホームページからダウンロードした画像などをパソコンのPictureGear 4.4Liteで管理しておくと、パソコンに保存されている画像をCLIEに最適化してから転送し、CLIEの画面上で画像を楽しめます。
それぞれの画像をPictureGear 4.4Liteで管理できる画像の形式で保存する方法については、デジタルカメラや画像処理ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

パソコンの画像をCLIEに送る

CLIEで見たい静止画を準備して、HotSyncでCLIEに転送します。

1 PictureGear 4.4Lite**を起動する。**
詳しくは92ページをご覧ください。

2 **画像を送りたいスライドを、クリックして選ぶ。**
CtrlキーやShiftキーを使って複数のスライドを選ぶこともできます。

3 **［ファイル］メニューの［出力サービス］－［次回**HotSync**時にインストールされるように予約］を選ぶ。**
「次のHotSync時に画像をインストールするよう予約」画面が表示されます。

4 **▼をクリックして、表示された一覧から画像を転送する**CLIE**のユーザー名を選ぶ。**
［静止画設定］をクリックして、表示される「CLIE用静止画形式ファイルの詳細設定」画面で、画像のサイズや圧縮の設定を行ってください。

5 ［OK］**をクリックする。**
転送する画像と転送先が、PictureGear Liteに登録されます。

6 CLIE**をクレードルに取りつけてから、**HotSync**ボタンを押す。**
登録されてたスライドの画像が、自動的にCLIEに転送されます。

次のページにつづく

“ メモリースティック ”に送る

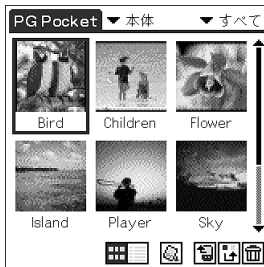
CLIEに挿入した“ メモリースティック ”に画像を転送することもできます。
上記の手順3で「CLIE形式でメモリースティックに出力」を選びます。
“ メモリースティック ”に転送した画像を見るには、『“ メモリースティック ”内の画像を見る』（98ページ）をご覧ください。

CLIEで画像を見る

ここではCLIE本体に保存した画像の見かたを説明します。

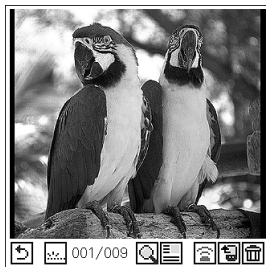
1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［PG Pocket］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

［PG Pocket］アイコンをタップして、PictureGear Pocketを起動することもできます。

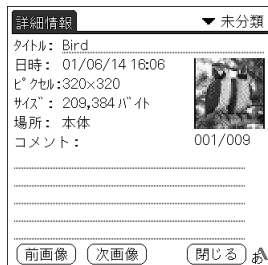
PictureGear Pocketが起動します。

2 画面中央上の▼をタップして、［本体］を選ぶ。

次のページにつづく

3 ジョグダイヤルを回して表示したい画像を選び、ジョグダイヤルを押す。

または、表示したい画像を直接タップします。
選んだ画像が画面サイズに合わせて表示されます。

4 画面下のアイコンを消して画像を全画面表示したいときは、 をタップする。

アイコンを再び表示させるには、ジョグダイヤルまたはBACKボタンを押すか画面をタップします。

5 画像の詳細情報を表示したいときは、（詳細情報）をタップする。

詳細情報画面から画像表示に戻るときは、画面右下の［閉じる］をタップするかBACKボタンを押します。

6 別の画像を見たいときは、ジョグダイヤルを回す。

次の画像が表示されます。

7 画像一覧画面に戻るときは、 をタップするか、BACKボタンまたはジョグダイヤルを押す。

画像を拡大／縮小して表示する

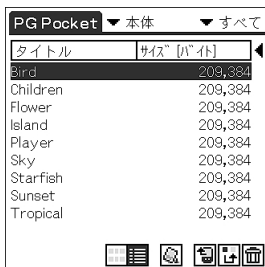
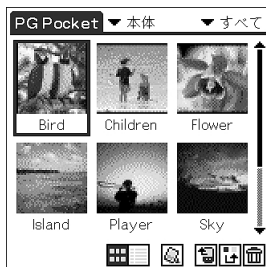
1 **画像が表示されている状態で 🔍 をタップする。**

2 **ジョグダイヤルを下方向に回して拡大、上方向に回して縮小する。**
ジョグダイヤルを押すと、画面サイズに合わせて表示します。

3 **画面に入りきらない画像をスクロールして見るには、画面をドラッグする。**

4 **元の画面に戻るにはBACKボタンを押す。**

画像の一覧表示の方法を切り替える

画像の一覧を画像名と画像のサイズ／撮影日で表示するか、縮小表示画像（サムネイル）で表示するか切り替えられます。

画像名とサイズ／撮影日で表示
（リスト表示モード）

縮小表示画像で表示
（画像一覧モード）

画像名とサイズ／撮影日で一覧を表示する（リスト表示モード）

☰ をタップします。

画面右上の◀をタップして、サイズ表示と撮影日表示を切り替えることができます。

縮小表示画像（サムネイル）で一覧を表示する（画像一覧モード）

▦ をタップします。

“ メモリースティック ”内の画像を見る

デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラで撮影され、“ メモリースティック ”に保存された静止画は、通常は「DCF」という標準的な画像形式で保存されています。これはPictureGear Pocketが使用している形式（PGP形式）とは異なる画像形式です。

PictureGear Pocketは“ メモリースティック ”に保存されているDCF形式の画像を見るだけでなく、それらをCLIEで扱うことのできるPGP形式の画像に変換して、本体や“ メモリースティック ”に保存することもできます。

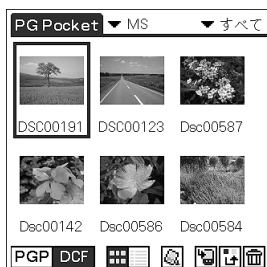
1 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［PG Pocket］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

PictureGear Pocketが起動します。

［PG Pocket］アイコンをタップして、PictureGear Pocketを起動することもできます。

2 **CLIEに“ メモリースティック ”を挿入する。**

3 **画面中央上の▼をタップして、［MS］を選ぶ。**

4 **デジタルカメラなどで撮影したDCF形式の画像を見たいときは［DCF］、PictureGear Pocketで変換した画像や、PictureGear 4.4Liteで作成したPGP形式の画像を見たいときは［PGP］をタップする。**

ご注意

PictureGear PocketやMS Gateアプリケーションで、デジタルカメラなどで撮影されたDCF形式の画像を移動したり、コピー、転送することはできません。ただし、PictureGear PocketでPGP形式の画像に変換して、CLIE本体に保存することはできます。

DCF**形式について**

- PictureGear Pocketは、社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格「Design rule for Camera File system（DCF）」の表示に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（ソニーデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV900、ソニーデジタルスチルカメラDSC-D700およびDSC-D770）で記録された静止画像は、PictureGear Pocketで表示できません。
- DCF形式の画像は、“ メモリースティック ”内の「DCIM」フォルダに保存されています。
- PictureGear Pocketでよりきれいな画像を表示するには、パソコン上でPictureGear 4.4Liteを使って画像をPGP形式に変換してから、“ メモリースティック ”に保存することをおすすめします。

画像をコピーする

CLIE本体の画像を“ メモリースティック ”に保存する（エクスポート）

1 **“ メモリースティック ”に保存したい画像を表示する**（95ページ）。

2 **をタップする。**
「エクスポート」画面が表示されます。

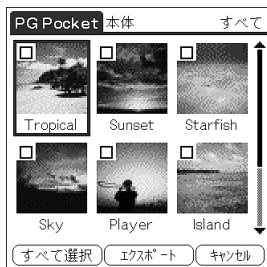
カテゴリーを変更する場合は、▼をタップしてカテゴリを選びます。
CLIE本体の画像を削除する場合は、［元画像を削除する］の□をタップして、☑にします。

3 ［OK］**をタップする。**

保存を中止したいときは

手順3で［キャンセル］をタップします。

複数の画像をまとめて保存したいときは

1 **画像一覧画面で をタップする。**
画像一覧画面がチェックボックス付きの表示に変わります。

2 **保存したい画像のチェックボックスの□をタップして、☑にする。**

3 **［エクスポート］をタップする。**
「エクスポート」画面が表示されます。

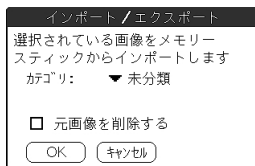
4 **カテゴリーと元画像の削除の設定をしてから、**［OK］**をタップする。**

“ メモリースティック ”内の画像をCLIE本体に保存する（インポート）

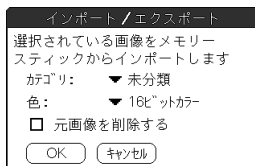
1 CLIE**本体に保存したい画像を表示する**（98**ページ**）**。**

2 **をタップする。**

「インポート」画面が表示されます。

- **PGP形式の画像の場合**

カテゴリーを変更する場合は、▼をタップしてカテゴリを選びます。

CLIE本体の画像を削除する場合は、□をタップして、☑にします。

- **DCF形式の画像の場合**

色数を選ぶには、▼をタップして［16ビットカラー］（65,536色）または［8ビットカラー］（256色）を選びます。

3 ［OK］**をタップする。**

DCF形式の画像はPGP形式の画像に変換され、CLIE本体に保存されます。

画像によっては、保存するまでに時間がかかることがあります。

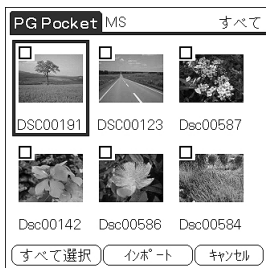
保存を中止したいときは

手順3で［キャンセル］をタップします。

画像をコピーする

複数の画像をまとめて保存したいときは

1 **画像一覧画面で をタップする。**

画像一覧画面がチェックボックス付きの表示に変わります。

2 **保存したい画像のチェックボックスの□をタップして、☑にする。**

3 **［保存］をタップする。**

「インポート」画面が表示されます。

4 **前ページの手順2に従ってインポートの設定をしてから、［OK］をタップする。**

DCF形式の画像はPGP形式の画像に変換され、CLIE本体に保存されます。

画像によっては、保存するまでに時間がかかることがあります。

画像を自動表示する（フォトスタンド）

CLIEをクレードルに取り付けて、保存してある好みの画像を次々に表示できます（フォトスタンド）。また、画像といっしょに時刻を表示させる設定をすれば、CLIEを置き時計として使うことができます。
CLIEをフォトスタンドとして使うには、PhotoStandアプリケーションを使用します。

PhotoStandの設定を作成する

1 PictureGear Pocket**の画像一覧画面で** [icon] **をタップする。**
「画像の選択」画面が表示されます。

2 PhotoStand**で表示したい画像の□をタップして☑にし、［フォトスタンド］ボタンをタップする。**
表示されているすべての画像を選ぶには、［すべて選択］をタップしてチェックをつけます。

3 **好みに合わせて設定を変更する。**

- **名前：**この設定の名前をつけます。
- **並び替え：**画像を表示する順番を選びます。
- **エフェクト：**画像が切り替わるときの効果や時刻表示の種類を選びます。
- **表示間隔：**1枚の画像を表示する時間を選びます。
- **ループ：**カテゴリー内の画像を繰り返しスライドショー表示したいときは、タップして☑にします。
- Autorun：" メモリースティック "を挿入したときにPhotoStandが起動するように設定したいときは、タップして☑にします（" メモリースティック "内の画像をPhotoStandの設定に指定したときのみ）。

4 ［保存］をタップする。

PhotoStandの設定が保存され、設定の一覧画面が表示されます。
保存する前に確認するには［プレビュー］をタップします。
画像を選び直すには、［画像選択］をタップします。

PhotoStandアプリケーションを起動する

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［PhotoStand］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

［PhotoStand］アイコンをタップして、PhotoStandを起動することもできます。

PhotoStandが起動して設定の一覧画面が表示されます。

2 一覧から、設定の名前をタップして選ぶ。

3 ［開始］をタップする。

フォトスタンドが始まります。

ホーム画面から直接フォトスタンドを開始する

作成したPhotoStandの設定は、ホーム画面に表示されます。アプリケーションを起動する要領で、簡単にフォトスタンドを開始することができます。
ただし、“ メモリースティック ”内の画像をPhotoStandに設定しているときは、ホーム画面に設定のアイコンが表示されません。PhotoStandアイコンをタップしてアプリケーションを起動させてから、画面右上の▼をタップして［MS］を選び、一覧画面で設定の名前をタップして設定を選びます。

PhotoStandの設定を新しく作成する

上記の手順2で［新規］をタップします。

PhotoStandの設定を変更する

上記の手順2で設定の名前をタップして変更したい設定を選んでから、［変更］をタップします。

PhotoStandの設定を削除する

上記の手順2で設定の名前をタップして削除したい設定を選んでから、［削除］をタップします。

オンラインマニュアルの見かた

PictureGear Pocketの詳細な情報は、付属CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載されています。なお、オンラインマニュアルを見るには、Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
自動的にインストール画面が表示されます。

2 **［終了］をクリックする。**

3 **［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**

4 **CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［開く］を選ぶ。**

5 **「Manuals」フォルダをダブルクリックする。**

6 **「PictureGear Pocket Manual.pdf」をダブルクリックする。**
オンラインマニュアルが表示されます。

Acrobat Readerがインストールされていないときは

上記の手順2のあとに、「PC_Applications」－「Acrobat」フォルダを開いてから「AR500JPN.exe」をダブルクリックして、Acrobat Readerをパソコンにインストールしてください。

PictureGear Pocketのメニュー項目

ここでは、PictureGear Pocket固有のメニュー項目を説明します。
CLIEのアプリケーションに共通のメニュー項目については、CLIE本体取扱説明書の「共通メニュー項目」をご覧ください。
また、表示している画面によって利用できる項目が異なりますので、ご注意ください。

画像一覧画面

「表示」メニュー

サムネイル／リスト	画面一覧モードとリスト表示モードの切り替えをします。
フォトスタンド	PhotoStandアプリケーションを起動して、CLIEをフォトスタンドモードにします。
電源オフ*	CLIEの電源を切ります。
検索*	検索画面が表示されます。

*ジョグアシスト機能を使用しているときのみ。

「画像」メニュー

インポート／エクスポート	インポートまたはエクスポートモードにします。
削除	複数の画像を同時に削除できます。
カテゴリ変更	複数の画像のカテゴリーを同時に変更できます。

「オプション」メニュー

設定	“ メモリースティック ”内の画像データの標準表示フォーマットをPGP（PictureGear Pocket）形式またはDCF形式から選択します。
バージョン情報	PictureGear Pocketのバージョン情報を表示します。

画像表示画面

「表示」メニュー

戻る	画像一覧画面または画像表示へ戻ります。
詳細情報	表示している画像の詳細情報画面を表示します。 • **最初の画像：**一覧の最初の画像を表示します。 • **前画像：**一つ前の画像を表示します。 • **次画像：**次の画像を表示します。 • **最後の画像：**一覧の最後の画像を表示します。
ズームモード	画像をズーム（拡大／縮小）表示します。 • **ズームイン：**画像が拡大されます。 • **ズームアウト：**画像が縮小されます。 • **最小ズーム：**画像を最小サイズで表示します。 • **最大ズーム：**画像を最大サイズで表示します。 • **ピクセル等倍：**実際の画像サイズで表示します。 • **画面にあわせる：**画像を画面のサイズに合わせて表示します。
最初の画像	次の画像または前の画像を表示します。
前画像	一つ前の画像を表示します。
次画像	次の画像を表示します。
最後の画像	一覧の最後の画像を表示します。
ツールバーを隠す	画面下のアイコンを非表示にします。
電源オフ*	CLIEの電源を切ります。
検索*	検索画面が表示されます。

*ジョグアシスト機能を使用しているときのみ。

「画像」メニュー

インポート／エクスポート	表示している画像をインポートまたはエクスポートします。
削除	表示している画像を削除します。
赤外線通信	表示している画像を赤外線ポートから転送します。

「オプション」メニュー

設定	PictureGear Pocketの設定変更画面を表示します。 • **ループさせる：**ジョグダイヤルで画像を選ぶとき、最初の画像の次に最後の画像、または最後の画像の次に最初の画像を表示できるようにします。
バージョン情報	PictureGear Pocketのバージョン情報を表示します。

Chapter 5

動画を持ち出す（gMovie）

gMovieは、付属CD-ROMに収録されているパソコン用のPictureGear 4.4Liteソフトウェアなどを使ってCLIE用に作成した動画を、CLIE上で表示／再生するためのアプリケーションです。
お気に入りのビデオクリップをCLIEに送って持ち歩けます。

この章で使うアプリケーション／ソフトウェア

CLIE： gMovie Ver.1.3
パソコン： PictureGear 4.4Lite

CLIE本体の他に必要なもの

gMovieでできること

gMovieは、付属CD-ROMに収録されているパソコン用のPictureGear 4.4Liteソフトウェアなどを使ってCLIE用に作成した動画を、CLIE上で表示／再生するためのアプリケーションです。

外出先でもムービークリップを楽しめます

PictureGear 4.4 LiteでCLIE用に作成した動画をCLIEに転送したり、“ メモリースティック ”からCLIEにコピーした動画を再生できます。
いつでもどこでもお気に入りのムービークリップを楽しめます。
PictureGear 4.4 Liteのインストールについては、92ページをご覧ください。

gMovieはインストール不要です

gMovieは工場出荷時からCLIEに収録されているため、あとからCLIEにインストールする必要はありません。

パソコンの動画をCLIEで見る

デジタルスチルカメラで撮影した動画や連続撮影した静止画、ホームページからダウンロードした動画などをパソコンのPictureGear 4.4Liteで管理しておくと、パソコンに保存されている動画をCLIEに最適化してから転送し、CLIEの画面上で動画を楽しめます。
それぞれの画像をPictureGear 4.4Liteで管理できる動画の形式で保存する方法については、デジタルカメラや動画処理ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

パソコンの動画をCLIEに送る

CLIEで見たい動画を準備して、HotSyncでCLIEに転送します。

1 **CLIEに転送したいスライドを、クリックして選ぶ。**
Ctrlキーや Shiftキーを使って複数のスライドを選ぶこともできます。

2 **［ファイル］メニューの［出力サービス］－［次回HotSync時にインストールされるように予約］を選ぶ。**
「次のHotSync時に画像をインストールするよう予約」画面が表示されます。

3 **▼をクリックして、表示された一覧から画像を転送するCLIEのユーザー名を選ぶ。**
［動画設定］をクリックして、表示される「CLIE用動画形式の詳細設定」画面で、画像のサイズや圧縮の設定を行ってください。

4 **［OK］をクリックする。**
転送する画像と転送先が、PictureGear Liteに登録されます。

5 **CLIEをクレードルに取りつけてから、HotSyncボタンを押す。**
登録されていたスライドの画像が、自動的にCLIEに転送されます。

"メモリースティック"に送る

パソコンに挿入した“メモリースティック”にCLIEで再生できる形式の画像を転送することもできます。
上記の手順2で「CLIE形式でメモリースティックに出力」を選びます。
“メモリースティック”に保存した動画は、CLIEで楽しめます。

CLIEで動画を見る

CLIEに転送した動画は、以下の手順で再生できます。

1 ホーム画面でジョグダイヤルを回して［gMovie］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。

［gMovie］アイコンをタップして、gMovieを起動することもできます。

gMovieが起動し、動画の一覧画面が表示されます。

2 動画の一覧から、再生したい動画をタップする。

動画の再生が始まります。

再生を一時停止する

⏸ をタップします。

再開するときは ▶ をタップします。

動画の最初に戻す

⏮ をタップします。

動画の一覧画面に戻るには

画面右上の ☰ をタップします。

次の動画を再生するには

画面右上の ▶ をタップします。

動画を次々に表示するには（連続再生モード）

画面右上の ▶ を、スタイラスで1秒以上タップします。

アイコンが ▶ に変わり、動画を次々に再生します。

通常の再生に戻すには、▶ を1秒以上タップします。

動画を削除するには

1 **削除したい動画を表示して、 メニュー をタップする。**

2 **［メディアの削除］をタップする。**

3 ［OK］**をタップする。**

動画が削除され、動画の一覧画面に戻ります。

オンラインマニュアルの見かた

gMovieの詳細な情報は、付属CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載されています。なお、オンラインマニュアルを見るには、Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
自動的にインストール画面が表示されます。

2 **［終了］をクリックする。**

3 **［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**

4 **CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［開く］を選ぶ。**

5 **「Manuals」フォルダをダブルクリックする。**

6 **「gMovie Manual.pdf」をダブルクリックする。**
オンラインマニュアルが表示されます。

Acrobat Readerがインストールされていないときは

上記の手順2のあとに、「PC_Applications」－「Acrobat」フォルダを開いてから「AR500JPN.exe」をダブルクリックして、Acrobat Readerをパソコンにインストールしてください。

gMovieのメニュー項目

ここでは、gMovie固有のメニュー項目を説明します。
共通のメニュー項目については、CLIE本体取扱説明書の「共通メニュー項目」をご覧ください。

「メディア」メニュー

動画の一覧画面で メニュー をタップしたときは、以下の項目が表示されます。

バージョン情報	gMovieアプリケーションのバージョン情報が表示されます。
電源オフ*	CLIEの電源を切ります。
検索*	検索画面が表示されます。

*ジョグアシスト機能を使用しているときのみ。

動画を表示して メニュー をタップしたときは、以下の項目が表示されます。

メディアの詳細	現在表示している動画の詳細情報が表示されます。
メディアの赤外線通信	現在表示している動画を、他のCLIEに赤外線通信ポート経由で送信できます。赤外線通信のしかたについて詳しくは、本機の取扱説明書をご覧ください。
メディアの削除	現在表示している動画を削除します。「メディアの削除」画面が表示されるので、削除を実行するときは［OK］、削除を止めるときは［キャンセル］をタップします。
環境設定	動画をくり返し再生するかどうかの設定を行います。
バージョン情報	gMovieアプリケーションのバージョン情報が表示されます。
電源オフ*	CLIEの電源を切ります。
検索*	検索画面が表示されます。

*ジョグアシスト機能を使用しているときのみ。

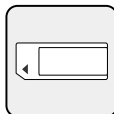
Chapter 6

地図を持ち出す（Navin' You Pocket）

Navin' You Pocketは、別売りのパソコン用のNavin' You 5.0ソフトウェアなどを使ってCLIE用に作成した地図を、CLIE上で表示するためのアプリケーションです。
外出先でも地図の確認ができ、便利です。

この章で使うアプリケーション／ソフトウェア

CLIE：Navin' You Pocket Ver.1.1
パソコン：Navin' You 5.0/MapCutter1.0

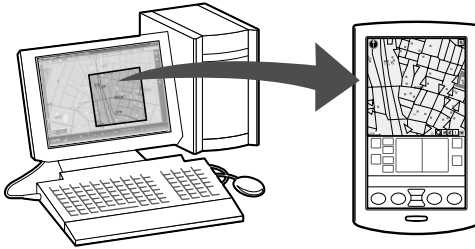
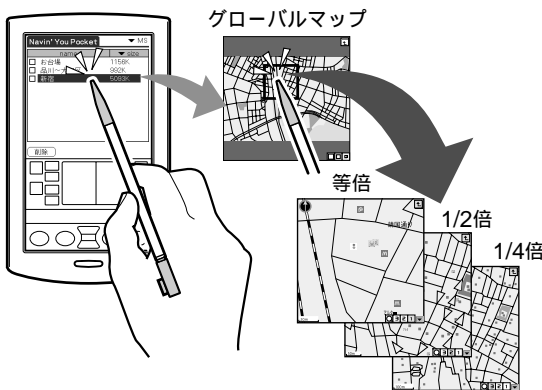
CLIE本体の他に必要なもの

Navin' You Pocketでできること

Navin' You Pocketは、パソコンで切り出した「Navin' You専用マップ」地図ディスクのデータを、CLIEで表示するためのアプリケーションです。

外出先でもCLIEで地図を見ることができます

MapCutter 1.0でCLIE用に作成した地図をCLIE本体や“ メモリースティック ”に保存して、持ち歩くことができます。

CLIEで地図を見るために

Navin' You Pocketで地図を見るためには、Navin' You 5.0以降か、MapCutterがインストールされたパソコンと、「Navin' You専用マップ」地図ディスクが必要です。

地図データは付属のMapCutterを使ってパソコンで切り出し、HotSyncまたは“ メモリースティック ”経由でCLIEに転送します。

Navin' You Pocketでは切り出した地図を次のように見ることができます。

- 地図を等倍、1/2倍または1/4倍に拡大／縮小できます。
- 地図上のお気に入りの地点に情報（ユーザーズポイント）を追加できます。

インストールする

CLIEにNavin' You Pocketをインストールする

Navin' You Pocketはパソコンからインストールできます。
付属のインストールCD-ROMで、CLIE Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールしておいてください。

1 Windows**のデスクトップの**［CLIE Palm Desktop］**アイコンをダブルクリックする。**
CLIE Palm DeskTopが起動します。

2 **［インストール］をクリックする。**

3 **ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**

4 **［追加］をクリックする。**
Add-onフォルダが選ばれていることを確認します。
選ばれていないときは手動で表示させます。
Add-onフォルダは、標準ではハードディスクの「Program Files」内の「Sony PDA」フォルダ内にあります。

5 Add-on**フォルダの中から**Navin' You Pocket**フォルダをダブルクリックする。**

6 ［NYPocket.prc］**をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」に「NYPocket.prc」が追加されます。

7 **［終了］をクリックする。**

8 **クレードルの**HotSync**ボタンを押す。**
HotSyncが始まり、Navin' You PocketがCLIEに転送されます。

インストールする

パソコンにMapCutterをインストールする

付属のインストールCD-ROMに収録されている、パソコン用のソフトウェアをインストールします。

1 パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。
CD-ROMが認識されると、インストーラの起動画面が表示されます。
インストーラが起動しない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをクリックして、MapCutterSetup.exeをダブルクリックします。

2 ［その他のソフトウェア］をクリックする。

3 ［MapCutterのインストール］をクリックする。

4 ［はい］をクリックする。
MapCutterソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが終了すると、インストーラの起動画面に戻ります。

5 ［終了］をクリックする。

ご注意

Navin' You Ver5.1がプリインストールされているVAIOには、あらかじめMapCutterがインストールされていますが、上記の手順でMapCutterをインストールしなおす必要があります。
インストール開始直後の「ようこそ」の画面で［修正］を選ぶと、MapCutterをアップデートできます。
MapCutterのバージョンは、［ヘルプ］メニューの［MapCutterのバージョン情報］で確認できます。「MapCutter Version 1.0.00.04160」と表示されていれば、最新版が正しくインストールされています。

MapCutterで地図を切り出す

Navin' You Pocketで見るための地図は、MapCutterを使用して作成します。MapCutterは、Navin' You専用マップの一部を切り出して、Navin' You Pocketで見ることができる地図データを作成するためのソフトウェアです。作成した地図データは、次回HotSync実行時にCLIEにインストールされるようにしたり、“ メモリースティック ”に保存することができます。

ご注意

地図データを“ メモリースティック ”に書き込んだり、“ メモリースティック ”内の地図データの削除または名前の変更を行うときは、“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」の位置になってないことを確認してから操作してください。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］から**［MapCutter 1.0］－［MapCutter 1.0］**を選ぶ。**
MapCutterが起動します。

2 **マップウィンドウに表示されている地図を操作して、切り出す場所を表示させる。**
地図の操作について詳しくはMapCutterのヘルプをご覧ください。

3 **［作成］ボタンをクリックする。**
ウィンドウ左部の操作パネルが「表示情報の設定」に切り換わります。

4 **切り出す地図に表示する情報を指定する。**
次のいずれかを選びます。
表示しない：ディスク情報がすべて非表示になります。
すべてを表示：ディスク情報がすべて表示されます。
カテゴリで指定：指定されたカテゴリの情報が表示されます。カテゴリを指定するには、リストボックスで表示させたいカテゴリをチェックします。
操作し終わったら［次へ］ボタンをクリックしてください。操作パネルが「縮尺の決定」に切り換わります。

ちょっと一言
操作中に［戻る］ボタンをクリックすると、前の操作パネルに戻ることができます。

5　切り出す地図の縮尺を指定する。

［320×320 pixel］を選びます。
選んだCLIEの画面サイズを示す白枠が地図上に表示されます。この白枠を目安に、スクロールバーを操作してCLIEの画面上に表示する縮尺を決めてください。
縮尺の決定が終わったら［次へ］ボタンをクリックしてください。操作パネルが「切り出し範囲の決定」に切り換わり、地図上にはマス目（メッシュ）が表示されます。

6　地図データに切り出す範囲を指定する。

範囲を指定するには、Ctrlキーを押しながら、表示されている地図上をマウスでドラッグします。範囲の指定はマス目（メッシュ）単位で行われます。切り出す範囲が表示されている地図からはみ出しているときは、地図を拡大／縮小させてから切り出す範囲を指定してください。

ご注意

範囲の指定が行えるのは縦16マス、横16マスまでです。
操作し終わったら［次へ］ボタンをクリックしてください。操作パネルが「ユーザーズポイントの選択」に切り換わります。

7　地図といっしょに切り出すユーザーズポイントを選ぶ。

一覧には、Navin' Youで設定されているユーザーズポイントのうち、指定した範囲に含まれるユーザーズポイントが表示されます。ユーザーズポイントについて詳しくは、134ページをご覧ください。
いっしょに切り出すユーザーズポイントのチェックボックスをチェックします。

- ［すべて選択］ボタンをクリックすると、すべてのユーザーズポイントを選択できます。
- ［すべて非選択］ボタンをクリックすると、すべてのユーザーズポイントの選択を解除できます。

ご注意

ユーザーズポイントも地図といっしょに切り出すには、Navin' You Ver.5.0 以降がインストールされている必要があります。
操作し終わったら［次へ］ボタンをクリックしてください。操作パネルが「切り出し先の選択」に切り換わります。

8 **切り出す地図データのCLIEへの転送方法を指定する。**

地図データを“メモリースティック”に保存し、“メモリースティック”を介してCLIEに地図データを転送するときは［メモリースティックに切り出す］を選びます。
HotSync機能を使って地図データをCLIEに転送するときは［次回HotSync時にインストールされるように切り出す］を選びます。
操作し終わったら［次へ］ボタンをクリックしてください。

このあとの操作は、CLIEへの転送方法の指定によって次のように異なります。

［メモリースティックに切り出す］を選択した場合

操作パネルが「メモリースティックに切り出し」に切り換わります。
［メモリースティックの場所］の▼をクリックして表示される一覧からメモリースティックスロットのドライブを選び、［地図データの名称］テキストボックスに地図データの名前（全角20文字以内）を入力してから、［切り出し］ボタンをクリックすると、地図データが切り出され、“メモリースティック”に保存されます。
［完了］ボタンをクリックすると操作パネルが最初の表示に戻ります。

［次回HotSync時にインストールされるように切り出す］を選択した場合

操作パネルが「HotSync経由で切り出し」に切り換わります。
［ユーザー］の▼をクリックして表示される一覧から、CLIE Palm Desktopに登録されているユーザー名を選び、［地図データの名称］テキストボックスに地図データの名前（全角20文字以内）を入力してから、［切り出し］ボタンをクリックすると、地図データが切り出されます。切り出された地図データは、次回HotSyncを実行したときに、自動的にCLIEに転送されます。
［完了］ボタンをクリックすると操作パネルが最初の表示に戻ります。

地図データをCLIEに転送する

切り出した地図データは、MapCutterで地図の切り出しを行ったときに指定した転送方法でCLIEに転送します。

- “ メモリースティック ”に地図データを保存したときは、CLIEのメモリースティックスロットに“ メモリースティック ”を入れてください。
- HotSync時にインストールされるように地図データを切り出したときは、HotSyncを実行すると自動的に地図データがCLIEに転送されます。
  HotSyncの方法について、詳しくはCLIEの取扱説明書をご覧ください。

Navin' You Pocketで地図を見る

1 CLIE**のホーム画面から、ジョグダイヤルを回して**［NY Pocket］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

［NY Pocket］アイコンをタップして起動することもできます。
Navin' You Pocketが起動し、地図データ選択画面が表示されます。
地図データ選択画面には、"メモリースティック"またはCLIE本体にある地図データの一覧が表示されます。

ご注意

地図データ選択画面を表示させているときにBackボタンを押すとNavin' You Pocketを終了してホーム画面に戻ります。Backボタンでホーム画面に戻らないようにするには、［オプション］メニューの［設定］をタップして［設定］画面を表示させると、Backボタンの動作を地図データのメディア（"メモリースティック"または本体）の切り替えに変更することができます。

地図データ選択画面では次のことができます

- 地図データを選択して開くことができます。
- 地図データを"メモリースティック"またはCLIE本体にコピーできます。（139ページ）
- 選択した地図データを削除できます。

地図を開く

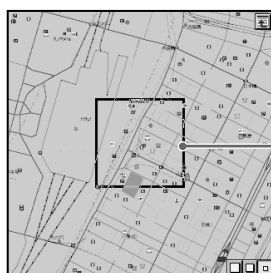
地図を開くには、地図データ選択画面で次のようにします。
地図画面に地図を表示させているときは、［オプション］メニューの［マップリスト］を選ぶか、地図上をタップして表示されるメニューから［マップリスト］を選ぶと地図データ選択画面を表示させることができます。

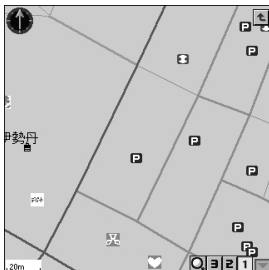
1 **［MS／本体］をタップして表示されるメニューで、地図データが保存されているメディア（“メモリースティック”またはCLIE）を選ぶ。**
選んだメディアに保存されている地図データの一覧が表示されます。

2 **開きたい地図データ名をタップする。**
“メモリースティック”に保存されている地図データを選んで開いたときは、「コピー確認」画面が表示されます。地図データをCLIE本体に一時的にコピーして開くときは［コピー］を、地図データを“メモリースティック”から直接開くときは［MS］をタップしてください。

ご注意

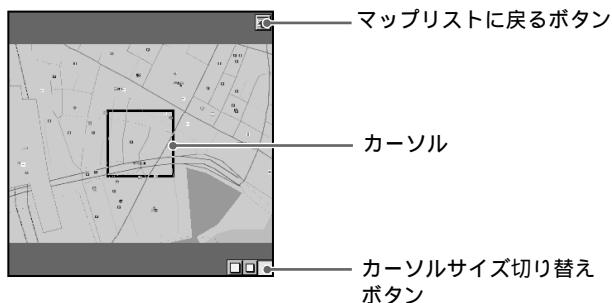
- 地図データを“メモリースティック”から直接開いた場合、ユーザーズポイントを扱う（134ページ）ことはできません。
- “メモリースティック”に保存されている地図データを、地図データを開くときにCLIE本体にコピーしたときは、Navin' You Pocketの操作を終了すると地図データはCLIE本体からクリアされます。
- “メモリースティック”に保存されている地図データがCLIE本体のメモリの空き容量よりもサイズが大きいときは、必ず“メモリースティック”から直接開きます。

選んだ地図データの全体図（グローバルマップ）が地図画面に表示されます。
切り出した地図データの縦横比が異なる場合は、地図の上下または左右がマスクされて表示されます。

3　カーソルをスタイラスでドラッグして地図上の見たい領域に移動させるか、見たい領域をタップする。

スタイラスを画面から離すと、カーソル内の領域が地図画面に表示されます。

他の地図に切り換えるには

表示されている地図を別の地図に切り換えるときは、地図上をタップして表示されるメニューから［マップリスト］を選んでください。地図データ選択画面が表示され、地図データを選んで開くことができるようになります。

地図の全体図（グローバルマップ）を扱う

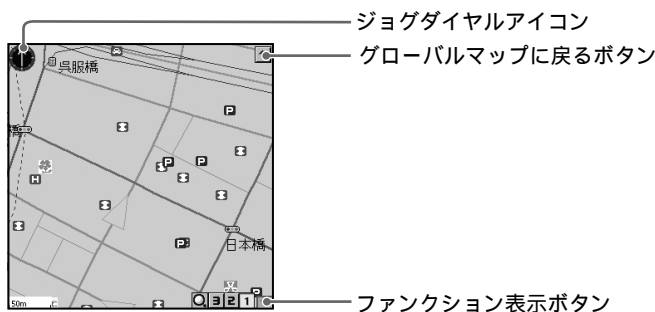
地図データ選択画面で地図データを選択して開くと、地図データに切り出されている領域全体が表示されます。この全体図のことをグローバルマップといいます。
地図画面が表示されているときは、 をタップすることによりグローバルマップを表示できます。 をタップすると、地図データ選択画面が表示されます。

グローバルマップでは、地図画面の大きさを示すカーソルを次のように操作することにより、見たい場所を指定して地図画面に表示させることができます。

- グローバルマップ上の任意の場所をタップすると、その場所にカーソルが移動します。スタイラスを画面から離すと、カーソル内の領域が地図画面に表示されます。
- カーソルはスタイラスでドラッグして移動させることができます。ドラッグ後にスタイラスを画面から離すと、カーソル内の地図が地図画面に表示されます。
- カーソルサイズ切り替えボタンをタップして、カーソルの大きさを変えることができます。

ご注意

切り出し範囲が小さい地図データでは、地図の全体図よりもカーソルが大きくなるため、グローバルマップ上にカーソルが見えなくなることがあります。

地図を操作する

地図画面には、表示されている地図を操作するための次のボタンがあります。

ジョグダイヤルアイコン

ジョグダイヤルを使って地図をスクロールさせることができます。

グローバルマップに戻るボタン

このボタンをタップすると、表示されている地図の全体図（グローバルマップ）が表示されます。

ファンクション表示ボタン

このボタンをタップするごとに、ジョグダイヤルアイコン、スケールおよびズームボタンの表示／非表示が切り換わります。

地図をスクロールする

地図上の画面に表示されていない場所を見るときは、次の方法で地図をスクロールします。

- ジョグダイヤルを使ってスクロールする
- スタイラスを使ってスクロールする

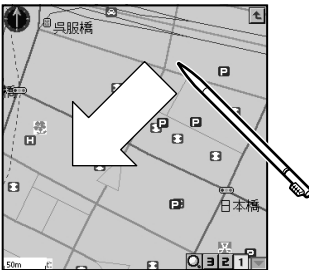
ジョグダイヤルを使って地図をスクロールするには

1 **ファンクション表示ボタンをタップして、画面上に を表示させる。**

2 **ジョグダイヤルを回して、スクロールする方向にジョグダイヤルアイコンの矢印の向きを変える。**
ジョグダイヤルの回転に合わせて、ジョグダイヤルアイコンの矢印の向きが8方向に回転します。

3 **ジョグダイヤルを押す。**
ジョグダイヤルアイコンの矢印の方向に地図がスクロールします。

スタイラスを使って地図をスクロールするには

スタイラスで地図をドラッグすると、ドラッグした方向に地図がスクロールします。

地図を拡大／縮小する

Navin' You Pocketで開いた地図には次の3つのズームモードがあります。これらのモードを切り換えることにより、地図を拡大／縮小して表示させることができます。

モード	説明
1	MapCutterで切り出した地図を等倍で表示するモードです。
2	MapCutterで切り出した地図を1/2倍の縮尺で表示するモードです。
3	MapCutterで切り出した地図を1/4倍の縮尺で表示するモードです。

1 ファンクション表示ボタンをタップして、画面上にズームボタンを表示させる。

2 ズームボタンの 1 、2 または 3 をタップする。

地図がタップしたボタンのズームモードで表示されます。タップしたボタンは、現在のモードがわかるように反転表示されます。

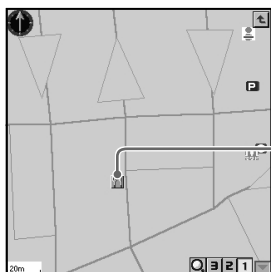
ユーザーズポイントを扱う

ユーザーズポイントとは、地図上の任意の場所に関する情報（文字や画像）のことです。

地図データに切り出す領域内に、Navin' Youで作成したユーザーズポイントがあるときは、ユーザーズポイントもいっしょに地図データに入れることができます。地図データに含まれるユーザーズポイントは、Navin' You Pocketで扱うことができます。

Navin' You Pocketでユーザーズポイントを作成することもできます。

ユーザーズポイントを扱う

地図データに含まれるユーザーズポイントは、地図上にアイコンで表示されます。

ユーザーズポイントの情報を表示して、内容を確認したり編集することができます。

ユーザーズポイントの情報を表示する

1 **ユーザーズポイントのアイコンをタップする。**

「ポイントデータ」画面が表示されます。

2 **内容を確認し、必要に応じて編集する。**

- アイコンをタップすると「アイコン一覧」画面が表示され、アイコンを選択して変更できるようになります。
- 住所、電話、URL、Mailの欄に入力されている情報を編集することができます。
- [削除]をタップすると、ユーザーズポイントを削除することができます。
- [メモ] をタップすると、「ポイント情報（メモ）」画面が表示され、ユーザーズポイントについてのコメントを確認したり編集できるようになります。

3 **内容を確認または編集したら、**[OK] **をタップする。**

Navin' You Pocketでユーザーズポイントを作成する

Navin' You Pocketで新たにユーザーズポイントを作成することができます。次のように操作します。

ご注意

“ メモリースティック ”の地図データにユーザーズポイントを作成する場合、新たに作成したユーザーズポイントの情報は、“ メモリースティック ”に記録されます。“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」の位置になっていないことを確認してから、下記の操作を行ってください。

1 地図を開く。

ご注意

“ メモリースティック ”に保存されている地図データを開くときは、「コピー確認」画面が表示されますので、［コピー］をタップして地図データをCLIE本体にコピーして開くようにしてください。地図データを“ メモリースティック ”から直接開いた場合、ユーザーズポイントを扱うことはできません。

2 地図上のユーザーズポイントにする場所をタップし、表示されるメニューから［ポイント追加］を選ぶ。

「ポイントデータ」画面が表示されます。

ポイントデータ

住所:

電話:

URL:

Mail:

OK　キャンセル　削除　メモ

3 **作成するユーザーズポイントに割り当てるアイコンを選ぶ。**

アイコンをタップすると、「アイコン一覧」画面が表示されます。目的のアイコンをタップすると、「アイコン一覧」画面が閉じて「ポイントデータ」画面のアイコンが変更されます。

4 **必要な情報（住所、電話番号、**URL、Mail）**を入力する。**

5 ［OK］**をタップする。**

作成したユーザーズポイントのアイコンが地図上に表示されます。

ちょっと一言

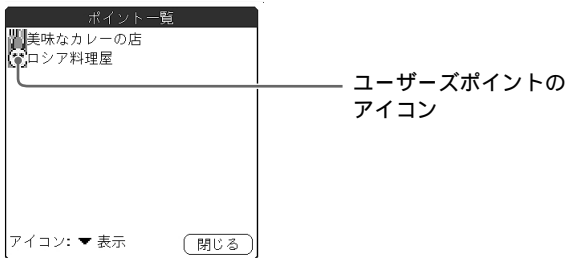
Navin' You Pocketで作成したユーザーズポイントの情報は、NYPオリジナルフォーマットで“ メモリースティック ”に保存されます。

ユーザーズポイントを扱う

ユーザーズポイントの一覧を表示する

ユーザーズポイントの一覧を表示して、地図データに含まれるユーザーズポイントを管理することができます。

1 地図上をタップし、表示されるメニューから［ポイントリスト］を選ぶ。

「ポイント一覧」画面が表示されます。

「ポイント一覧」画面では、次の操作ができます

- ユーザーズポイント名をタップすると、そのユーザーズポイントを中心に地図が表示されます。
- 地図上のユーザーズポイントのアイコンの表示／非表示を切り換えることができます。［アイコン］の ▼ をタップし、表示されるメニューで［非表示］を選択すると、ユーザーズポイントのアイコンは地図に表示されません。

地図データを管理する

地図をコピーする

選択した地図データを“ メモリースティック ”からCLIE本体のメモリにコピーしたり、CLIE本体のメモリから“ メモリースティック ”にコピーできます。
地図にユーザーズポイントを追加しているときは、ユーザーズポイントの情報もいっしょにコピーされます。

ご注意

- 地図データのコピーは、Navin' You Pocketの地図データ選択画面で行ってください。MS Gateでは地図データを正しくコピーできないことがあります。
- CLIE本体のメモリーの空き容量によっては、コピーできないことがあります。コピーに必要なCLIE本体側のメモリーの空き容量は、おおむね以下のとおりです。
  本体からMSへのコピー：　ファイルサイズの2.5倍
  MSから本体へのコピー：　ファイルサイズに加えて150キロバイトの空き

1 **地図データ選択画面を表示させる。**
地図を開いているときは、［オプション］メニューの［マップリスト］を選ぶか、地図上をタップして表示されるメニューから［マップリスト］を選びます。

2 **［MS／本体］をタップして表示されるメニューで、コピーする地図データが保存されているメディア（“ メモリースティック ”またはCLIE）を選ぶ。**
選んだメディアに保存されている地図データの一覧が表示されます。

3 **コピーする地図データのチェックボックスをタップしてチェックをつけてから、［コピー］をタップする。**
地図データのコピーを確認する画面が表示されます。

4 **［OK］をタップする。**
選んだ地図データがコピーされます。

地図データを削除する

不要になった地図を削除するときは、次のようにします。

1 **地図を表示させているときは、地図上をタップして表示されるメニューから［マップリスト］を選ぶ。**

地図データ選択画面が表示されます。

2 ［MS／**本体］をタップして表示されるメニューで、削除する地図データが保存されているメディア（“メモリースティック”または**CLIE）**を選ぶ。**

選んだメディアに保存されている地図データの一覧が表示されます。

3 **削除する地図データのチェックボックスをタップしてチェックをつけてから、［削除］をタップする。**

選んだ地図データの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 ［OK］**をタップする。**

選んだ地図データが削除されます。

オンラインマニュアルの見かた

Navin' You Pocketの詳細な情報は、付属CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載されています。なお、オンラインマニュアルを見るには、Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
自動的にインストール画面が表示されます。

2 **［終了］をクリックする。**

3 **［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**

4 **CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［開く］を選ぶ。**

5 **「Manuals」フォルダをダブルクリックする。**

6 **「Navin' You Pocket Manual.pdf」をダブルクリックする。**
オンラインマニュアルが表示されます。

Acrobat Readerがインストールされていないときは

上記の手順2のあとに、「PC_Applications」－「Acrobat」フォルダを開いてから「AR500JPN.exe」をダブルクリックして、Acrobat Readerをパソコンにインストールしてください。

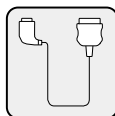
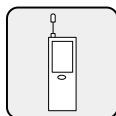
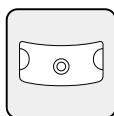
Chapter 7

テレビの番組表を見る（TVscape）

TVscapeは、テレビ番組表をCLIEで見るためのアプリケーションです。
番組情報サイト「テレビ王国」（http://www.so-net.ne.jp/tv/）で提供される番組表や内容紹介をCLIEで見ることができます。
また、お手持ちのパソコンにGiga Pocketソフトウェアがプリインストールされている場合は、TVscapeでテレビ番組の録画予約を行い、Giga PocketにHotSyncで予約情報を転送することができます。

この章で使うアプリケーション／ソフトウェア

CLIE：TVscape Ver.1.1
パソコン：Giga Pocket/TVscape**コンジット**

CLIE本体の他に必要なもの

TVscapeでできること

TVscapeは、テレビ番組表をCLIEで見るためのアプリケーションです。番組情報サイト「テレビ王国」[*1]（http://www.so-net.ne.jp/tv/）で提供される番組表や内容紹介をCLIEで見ることができます。

番組表を見る

指定した日付のテレビ番組表を番組情報サイトからダウンロードし、CLIEで見ることができます。[*2]
番組を指定して予約すると、別売りのGiga Pocketソフトウェアや予定表で予約した番組の情報を扱うことができるようになります。

録画予約を行う（Giga Pocketとの連携）

TVscapeでテレビ番組の予約を行い、パソコンにインストールされているGiga PocketにHotSyncで予約情報を転送することができます。
また、Giga Pocketの“CLIE変換”機能拡張を使うと、Giga Pocketで予約録画した番組の映像をgMovie形式のファイルに保存してCLIEで見ることができるようになります。

予約した番組を予定表で確認する（予定表との連携）

CLIEにインストールされているアプリケーション「予定表」と連携させて、TVscapeで予約した番組を予定として予定表に登録することができます。

[*1] 「テレビ王国」
So-netが運営するテレビ番組情報サービスです。便利なカスタマイズ番組表や番組解説などを提供しています。

[*2] 番組情報は、原則的には毎週水曜日に1週間分のデータが作成されますが、運用都合により、数日前後する場合があります。

インストールする

CLIEにインストールする

TVscapeはパソコンからインストールします。
付属のCD-ROMでCLIE Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続してください。

1 Windows**のデスクトップの**［CLIE Palm Desktop］**アイコンをダブルクリックする。**
CLIE Palm DeskTopが起動します。

2 **［インストール］をクリックする。**

3 **ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**

4 **［追加］をクリックする。**
Add-onフォルダが選ばれていることを確認します。
選ばれていないときは手動で表示させます。
Add-onフォルダは、標準ではハードディスクの「Program Files」内の「Sony PDA」フォルダ内にあります。

5 Add-on**フォルダの中から「**TVscape**」フォルダをダブルクリックする。**

6 ［TVscape.prc］**をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」にTVscapeが追加されます。

7 **［終了］をクリックする。**

8 **クレードルの**HotSync**ボタンを押す。**
HotSyncが始まり、TVscapeがCLIEに転送されます。

インストールする

ご注意

モデムを使ってインターネットにアクセスしている場合、TVscapeコンジットのインストールにより、HotSync経由での番組表のダウンロード（153ページ）を行わないときでもHotSyncを実行するとダイヤルアップ接続の画面が表示されることがあります。

この画面が出ないようにするには、次のどちらかの設定をしてください。

- 「コントロールパネル」の［インターネットオプション］をダブルクリックして開き、［接続］タブの［ダイヤルアップの設定］で［ダイヤルしない］を選びます。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。この設定により、ダイヤルアップ接続が自動で行われないようになります。
- TVscapeコンジットの設定画面を表示させ、HotSync機能の動作として［何もしない］を選びます。詳しくはTVscapeコンジットのヘルプをご覧ください。

パソコンにTVscape Conduitをインストールする

付属のインストールCD-ROMに収録されている、パソコン用のソフトウェアをインストールします。

1 **パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。**

CD-ROMが認識されると、インストーラの起動画面が表示されます。インストーラが起動しない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをクリックして、inst_TVscape11.exeをダブルクリックします。

2 **［その他のソフトウェア］をクリックする。**

3 **［TVscape Conduitのインストール］をクリックする。**

4 **［はい］をクリックする。**

TVscape Conduitソフトウェアのインストールが始まります。

以後、画面の指示に従って操作してください。

インストールが終了すると、インストーラの起動画面に戻ります。

5 **［終了］をクリックする。**

TVscapeを起動する

TVscapeは次の手順で起動します。

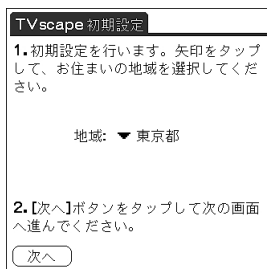
CLIE**のホーム画面から、ジョグダイヤルを回して**［TVscape］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

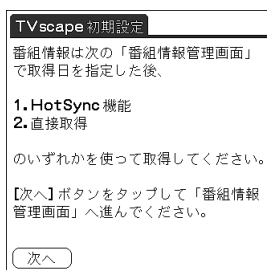
［TVscape］アイコンをタップして起動することもできます。

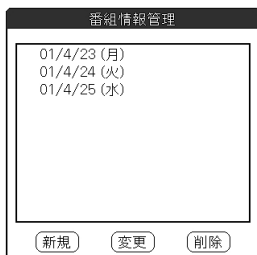
TVscapeが起動します。

前にTVscapeを起動したことがあり、番組表をダウンロード済みのときは、起動時刻に最も近い時間帯の番組表が表示されます。

はじめてTVscapeを起動したときは（初期設定）

はじめてTVscapeを起動したときは、「TVscape初期設定」画面が表示されます。次の手順で初期設定を行ってください。

1 **［地域］リストの▼をタップして表示されるメニューからお住まいの地域を選択してから、［次へ］をタップする。**

番組表のダウンロードに関する情報が表示されます。

2 内容を確認し、[次へ] をタップする。

「番組情報管理」画面が表示されます。

この画面では、番組表が日付ごとに一覧に表示されます。はじめてTVscapeを起動したときは、当日から3日分の日付が表示されます。番組表をダウンロードする日を追加したいときは、「番組表をダウンロードする日を登録する」の手順に従って番組表を登録してください。

ちょっと一言

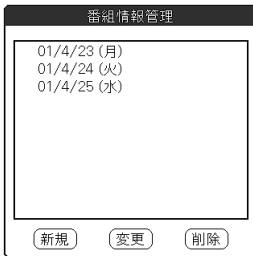
地域の設定は、あとで「設定」画面を表示させて行うこともできます（167ページ）。

番組表をダウンロードする日を登録する

TVscapeで番組表を見るためには、何日の番組表をダウンロードするかを指定して、「番組情報管理」画面の一覧に登録します。番組表のデータは日付ごとに地域別に作成されており、同じ日付の異なる地域の番組表を登録することもできます。
登録された番組表は、番組表のダウンロードを行うことにより、CLIEに転送されます。

1 TVscape**を起動する。**

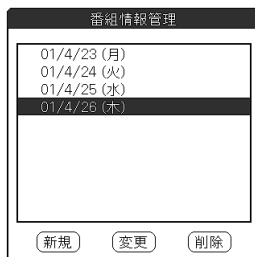
2 **「番組情報管理」画面を表示させる。**

- はじめてTVscapeを起動しているときは、表示される画面の指示に従って［次へ］をタップしていくと「番組情報管理」画面が表示されます。
- 前にTVscapeを起動したことがあり、番組表をダウンロード済みのときは、起動時刻に最も近い時間帯の番組表が表示されます。この場合は、［番組表］メニューの［番組情報管理］を選ぶと「番組情報管理」画面が表示されます。

3 **［新規］をタップする。**

「開始日」画面が表示されます。

4 **日付をタップして選択する。**

曜日をタップすると、「開始日」画面が閉じ、指定した日付が「番組情報管理」画面の一覧に表示されます。

- 年の両隣の ◀ または ▶ をタップすると、年を1年ずつ切り換えることができます。
- 月をタップすると、その月の日付が表示されます。スクロールボタンを押して前後の月に切り換えることもできます。
- ［今日］をタップすると、今日が日付として登録されます。

5 **他の日付の番組表も登録する場合は、手順3〜4を繰り返す。**

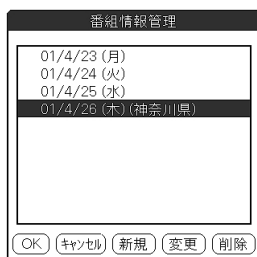
すでに画面に表示されている日付の番組表は、登録する必要はありません。

続いて、指定した日付の番組表のダウンロードを行ってください。

異なる地域の番組表を登録する

同じ日付の異なる地域の番組表を登録することもできます。「番組情報管理」画面で次の操作を行ってください。

1 日付を選択し、[変更] をタップする。

「確認」画面が表示されます。

2 [地域] リストの▼をタップして表示されるメニューで地域を選択し直し、[OK] をタップする。

「確認」画面が閉じ、「番組情報管理」画面に戻ります。地域を選択し直した番組表には、指定した地域が末尾に表示されます。

番組表をダウンロードする

「番組情報管理」画面の一覧に登録されている日付の番組表を、番組情報サービスプロバイダからダウンロードします。次の2つの方法があります。

- モバイルコミュニケーションアダプターを携帯電話またはPHSにつないで、CLIEで番組表を直接ダウンロードする。
- インターネットに接続できるパソコンを使って、ローカルHotSync時にパソコンで番組表をダウンロードしてCLIEに転送する。

ちょっと一言

番組情報は1週間ごとに追加、更新されます。詳しくは番組表画面の「テレビ王国」バナーをタップして確認してください。

CLIEで直接ダウンロードする

あらかじめ、CLIEの環境設定画面でモデムとネットワークの設定を済ませておく必要があります。詳しくは、CLIEの取扱説明書をご覧ください。

なお、TVscapeの「番組情報管理」画面で次のように操作して設定することもできます。

- ［オプション］メニューの［接続設定］を選ぶと、CLIEの環境設定画面が呼び出され、モデムの設定ができるようになります。
- ［オプション］メニューの［ネットワーク設定］を選ぶと、CLIEの環境設定画面が呼び出され、ネットワークの設定ができるようになります。

1 **モバイルコミュニケーションアダプターをCLIEに取り付け、接続ケーブルでCLIEと携帯電話／PHSをつなぐ。**

詳しくはCLIEの取扱説明書をご覧ください。

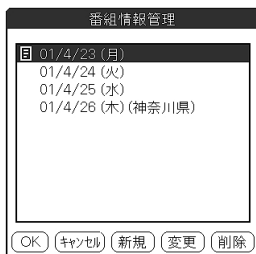
2 **番組表をダウンロードする日を登録する。**

3 **「番組情報管理」画面で、ダウンロードする番組表の日付を選択する。**

一度にダウンロードできる番組表は1つまでです。複数の番組表を登録しているときは、ひとつずつダウンロードを行う必要があります。

次のページにつづく

4 **メニュー をタップしてから、［番組表］メニューの［情報を取得する］を選ぶ。**

選択された日付の番組表のダウンロードが始まります。ダウンロードされた番組表の横にはアイコン が表示されます。

5 **複数の番組表を登録しているときは、手順3〜4を繰り返して残りの番組表をダウンロードする。**

6 **メニュー をタップしてから、［番組表］メニューの［回線の切断］を選ぶ。**

インターネットへの回線が切断されます。

ダウンロード済みの番組表を選び［OK］をタップすると、その番組表が表示されます。

［キャンセル］をタップすると、前に表示されていた番組表画面に戻ります。

HotSync経由でダウンロードする

HotSync経由で番組表をダウンロードするには、使用しているパソコンが次の要件を満たしている必要があります。

- インターネットに接続できること。
- CLIE Palm Desktopがインストールされていて、CLIEとHotSyncができること。
- TVscapeコンジットがインストールされていること。

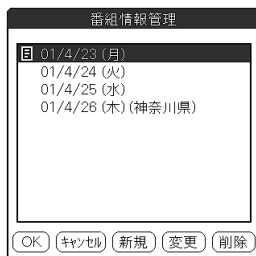
1 **パソコンでインターネットを利用できるようにする。**

詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 **番組表をダウンロードする日を登録する。**

3 **HotSyncを実行する。**

詳しくはCLIE本体の取扱説明書をご覧ください。

一覧に登録されている日付の番組表のダウンロードが始まります。ダウンロードが終了すると、ダウンロードされた番組表の横にアイコン が表示されます。

ご注意

HotSync中に［キャンセル］をタップしてHotSyncをキャンセルすると、登録が消去されることがあります。

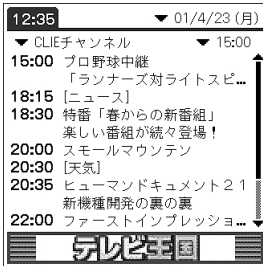
4 **パソコンでインターネット接続を終了する。**

詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ダウンロード済みの番組表を選び［OK］をタップすると、その番組表が表示されます。

［キャンセル］をタップすると、前に表示されていた番組表画面に戻ります。

番組表を見る

番組表をダウンロードしたあとは、TVscapeを起動すると起動時刻に最も近い時間帯の番組表が表示されます。

番組表は、チャンネルごとに番組の一覧が表示されます。表示されていない時間帯の番組を見るには、スクロールバーをタップまたはドラッグするか、時間帯の▼をタップして時間帯を指定します。

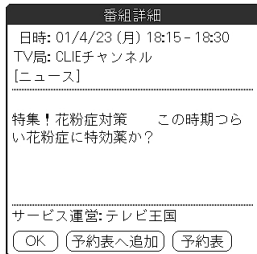
その他、番組表に対して次のことができます。

- 番組表の日付をタップすると、ダウンロード済みの番組表の一覧が表示され、表示する番組表を選んで切り換えることができます。
- チャンネルをタップすると、チャンネルの一覧が表示され、番組一覧に表示する番組を他のチャンネルの番組に切り換えることができます。
- 時間帯をタップすると、番組一覧の先頭の時間帯を指定することができます。
- 番組名をタップすると、「番組詳細」画面が表示され、番組の詳細を見たり予約を行うことができます。（160ページ）
- 「テレビ王国」バナーには、テレビ王国からのお知らせが表示されます。タップすると、より詳しい情報が表示されます。

ちょっと一言

「テレビ王国」バナーは、番組表のダウンロード時にいっしょにダウンロードされ、一定期間CLIEに保持されます。一定期間を経過すると、その次に番組表のダウンロードを行ったときに、新しい「テレビ王国」バナーが自動的にダウンロードされます。

番組の詳細を見る

番組表に表示されている番組名をタップすると、「番組詳細」画面が表示され、番組の詳細を見たり予約を行うことができます。

過去の番組表の番組の場合、[予約表へ追加] は表示されません。

この画面では、次のことができます。

- [予約表へ追加] をタップすると、番組が予約リストに追加され、番組の予約が行われます。
- [予約表] をタップすると、「予約リスト」画面が表示され、現在予約されている番組の一覧を確認することができるようになります。
- [OK] をタップすると、「番組詳細」画面が閉じ、番組表に戻ります。

裏番組を確認する

表示されている番組と同じ時間帯に放送される裏番組を、次の手順で一覧に表示して確認することができます。

1 ジョグダイヤルを回して、予約する番組表の放送時刻を選ぶ。

または、予約する番組表の放送時刻をタップする。

2 をタップする。

メニュー

3 ［番組表］メニューの［時間帯番組一覧］を選ぶ。

「指定時間帯番組一覧」画面が表示されます。指定した時間帯に放送されるすべてのチャンネルの番組が表示され、裏番組を確認できるようになります。

4 内容を確認し、［OK］をタップする。

「指定時間帯番組一覧」画面が閉じ、番組表に戻ります。

番組表を削除する

古くなった番組表などのように不要になった番組表は、次のどちらかの方法で削除できます。

- 「番組情報管理」画面の一覧で削除する番組表を選んで削除する。
- 番組表を表示させているときに、メニューのコマンドを実行して削除する。

「番組情報管理」画面で削除するには

「番組情報管理」画面の一覧で、削除する番組表を選んで削除します。

1 「番組情報管理」画面で、削除する番組表をタップして選ぶ。

2 [削除] をタップする。

選択した番組表が削除されます。

表示されている番組表を削除するには

番組表を表示させているときに、次のように操作すると表示されている番組表が削除されます。

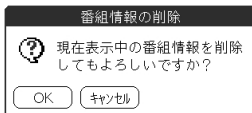
1 メニュー をタップする。

2 [オプション] メニューの [番組情報の削除] を選ぶ。

番組表の削除を確認する画面が表示されます。

3 [OK] をタップする。

選択した番組表が削除されます。

テレビの番組表を見る (TVscape)
Chapter 7

番組を予約する

番組表に表示されている番組を指定して予約することができます。予約された番組は予約リストに追加され、予約リストを表示することにより一覧で確認することができます。

番組を予約することにより、次のことができます。

- HotSyncによりパソコンにインストールされているGiga Pocketに予約情報を転送し、予約した番組をGiga Pocketで録画する。
- 予約した番組を予定として予定表に登録する。

予約情報をGiga Pocketに転送して使用するには、使用しているパソコンが次の要件を満たしている必要があります。

- Giga Pocketがインストールされ、使用できること。
- CLIE Palm Desktopがインストールされていて、CLIEとHotSyncができること。
- TVscapeコンジットがインストールされていること。（146ページ）

予約を行うには、番組表で次のように操作します。

1 **ジョグダイヤルを回して、予約する番組表の放送時刻を選ぶ。**

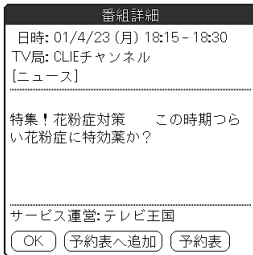
または、予約する番組表の放送時刻をタップします。

ちょっと一言

［番組表］メニューの［時間帯番組一覧］を選ぶと、指定した時間帯に放送されるすべてのチャンネルの番組が表示され、裏番組を確認できるようになります。

2 **ジョグダイヤルを押す。**

または、予約する番組名をタップします。

「番組詳細」画面が表示されます。

番組一覧で番組名をタップして「番組詳細」画面を表示させることもできます。

3 ［予約表へ追加］をタップする。

「予約の設定」画面が表示されます。必要に応じて、設定を変更してください。

- **録画モード：**▼をタップして、Giga Pocketで番組の予約録画を行うときの録画モード（ビデオCD互換、標準または高画質）を指定します。
- **予定表に反映：**予約した番組名などを予定表に入力したいときは、□をタップして☑にします。
- **挿入キーワード：**予定表に入力するときに、番組名の前に自動的にキーワードを挿入します。
- **アラーム：**アラームを鳴らしたいときは□をタップして☑にし、何分前（または何時間前）に鳴らすかの設定をします。

4 [OK] をタップする。

選択した番組が予約されたことを知らせるメッセージ画面が表示されます。

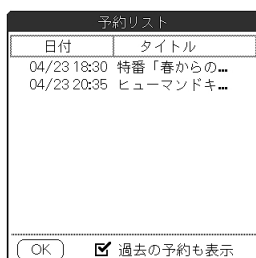
5 [OK] をタップしてメッセージ画面を閉じる。

「番組詳細」画面に戻ります。

6 次のどちらかの操作を行う。

- [OK]をタップすると、「番組詳細」画面が閉じて番組表画面に戻ります。
- [予約表]をタップすると、「予約リスト」画面が表示され、予約されている番組の一覧を確認することができるようになります。

予約リストを表示する

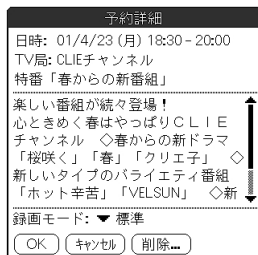
予約した番組の一覧（予約リスト）を表示することができます。予約リストでは、予約されている番組を確認したり、予約を取り消すことができます。
予約リストを表示するには、番組表画面が表示されている状態で［番組表］メニューの［予約リスト］を選びます。
「番組詳細」画面で［予約リスト］をタップすることにより、予約リストを表示させることもできます。

予約リストの番組の隣りに表示されているアイコンには、次の意味があります。

アイコン	意味
（録画済みアイコン）	Giga Pocketで録画済み
（予約済みアイコン）	予約済み
（警告アイコン）	予約エラー

ちょっと一言
［過去の予約も表示］をチェックすると、過去に予約された番組も一覧に表示されます。

「予約リスト」画面を閉じるには、［OK］をタップします。

予約されている番組の詳細を見るには

予約リストに表示されている番組名をタップすると、「予約詳細」画面が表示され、番組の内容を確認することができます。

この画面では、次のことができます。

- ［録画モード］の▼をタップすると、Giga Pocketで番組の予約録画を行うときの録画モード（ビデオCD互換、標準または高画質）を指定できるようになります。指定の変更は［OK］をタップして「予約リスト」画面に戻ったときに有効になります。
- ［削除］をタップすると、予約が取り消されます。

録画予約を取り消すには

番組の録画予約を取り消すには、予約リストに表示されている一覧で取り消す番組名をタップして「予約詳細」画面を表示させ、［削除］をタップしてください。

予約録画した番組をCLIEで見るには

Giga Pocketで予約録画した番組の映像をgMovie形式のファイルに保存することにより、録画予約した番組をCLIEで見ることができます。 詳しくはGiga PocketのヘルプおよびgMovieの説明（111ページ）をご覧ください。

予約情報をパソコンに転送する（Giga Pocketとの連携）

Giga Pocketソフトウェアがプリインストールされた VAIOをお使いの場合、TVscapeで予約した番組情報が次回のHotSyncでGiga Pocketに自動的に転送されます。転送された予約情報は、Giga Pocketで管理することができるようになり、番組の録画をGiga Pocketで操作することができます。詳しい操作方法はGiga Pocketのヘルプをご覧ください。
また、Giga Pocketで登録されている予約情報をTVscapeに転送したり、双方の予約情報の同期をとることもできます。予約情報の転送または同期は、TVscapeコンジットの設定に従います。設定について詳しくはTVscapeコンジットのヘルプをご覧ください。

ご注意

録画予約の情報は、番組開始5分前までにHotSyncしてGiga Pocketに登録を済ませる必要があります。

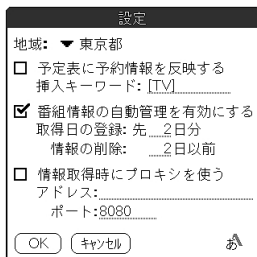
予約情報を予定表に反映する

TVscapeは、CLIEにインストールされているアプリケーション「予定表」と連携させることができます。予定表と連携させると、TVscapeで予約した番組が予定として自動的に予定表に登録されます。

設定を行うには

予約した番組の情報を予定表に登録するには、TVscapeで次のように設定しておく必要があります。

1 メニュー **をタップしてから、［オプション］メニューの［設定］を選ぶ。**

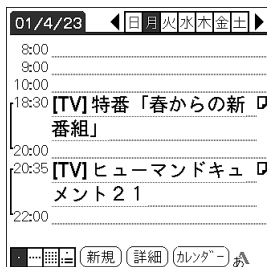
「設定」画面が表示されます。

2 ［予定表に予約情報を反映する］をチェックする。必要に応じて、［挿入キーワード］の文字列を変更する。

予定表には、［挿入キーワード］に入力されている文字列とともに登録されます。

3 ［OK］**をタップして「設定」画面を閉じる。**

番組を予約する

予約表で番組を確認するには

予定表と連携させるように設定を行うと、TVscapeで予約した番組が次のように予定表に登録されます。

ご注意

予定表への登録は、「設定」画面で［予定表に予約情報を反映する］をチェックしている間のみ行われます。

ちょっと一言

予定表には5分きざみで登録されますので、番組の放送時刻が実際の開始時刻または終了時刻と異なる場合があります。正確な放送時刻は、 アイコンをタップして番組の詳細を表示させて確認してください。

また、24時をまたいだ番組の場合は、23時55分までの予定として登録されます。

TVscapeの設定をする

［オプション］メニューの［設定］を選ぶと、「設定」画面が表示され、TVscapeの初期設定を行うことができます。設定が終わったら、［OK］をタップして「設定」画面を閉じてください。

次の設定が行えます。

［地域］

ダウンロードする番組表のデフォルトの地域を指定します。タップして表示される一覧から、お住まいの地域を選んでください。

［予定表に予約情報を反映する］

チェックボックスをチェックすると、予定表にも予約情報が登録されます。予定表には［挿入キーワード］に入力されている文字列とともに登録されます。

［番組情報の自動管理を有効にする］

チェックボックスをチェックすると、登録されている番組表が次のように自動的に管理されます。

- ［取得日の登録］で指定されている日数分の番組表は、自動的に登録されます。
  ただし、異なる地域の番組表は手動で登録または変更する必要があります。
- ［情報の削除］で指定されている日数よりも前の番組表は、自動的に削除されます。日数の指定を変更するには、日数をタップし、1〜9の数値を入力してください。

［情報取得時にプロキシを使う］

モバイルコミュニケーションアダプターを使って番組表をダウンロードするときに、プロキシサーバー経由でインターネットサービスプロバイダにアクセスするかどうかを指定します。プロキシサーバー経由でアクセスするときは、チェックボックスにチェックをつけ、プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力してください。

赤外線で番組表を送信する

ダウンロードした番組表を、次の手順で赤外線通信ポート経由で他のCLIEに送信することができます。
赤外線通信でのデータの送信や受信については、CLIEの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **「番組情報管理」画面で、送信する番組表の日付をタップして選ぶ。**
番組表が表示されているときは、[番組表] メニューの [番組情報管理] を選ぶと「番組情報管理」画面を表示できます。

2 CLIE**の赤外線通信ポートを、送信先の**CLIE**の赤外線通信ポートにまっすぐに向ける。**

3 **(メニュー)をタップしてから、[番組表] メニューの [情報の赤外線通信] を選ぶ。**
「赤外線通信」画面が表示され、選択されている番組表が送信先のCLIEに送信されます。

オンラインマニュアルの見かた

TVscapeの詳細な情報は、付属CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載されています。なお、オンラインマニュアルを見るには、Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
自動的にインストール画面が表示されます。

2 **［終了］をクリックする。**

3 **［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**

4 **CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［開く］を選ぶ。**

5 **「Manuals」フォルダをダブルクリックする。**

6 **「TVscape Manual.pdf」をダブルクリックする。**
オンラインマニュアルが表示されます。

Acrobat Readerがインストールされていないときは

上記の手順2のあとに、「PC_Applications」－「Acrobat」フォルダを開いてから「AR500JPN.exe」をダブルクリックして、Acrobat Readerをパソコンにインストールしてください。

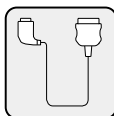
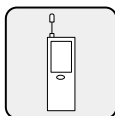
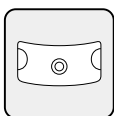
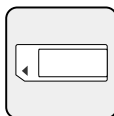
Chapter 8

その他の情報

この章では、CLIEに“ メモリースティック ”を入れたときに、指定したアプリケーションを自動的に起動するMSAutorunアプリケーション、CLIE用のアプリケーションをパソコンから“ メモリースティック ”にHotSyncを使わずにコピーするMS Import/MS Exportアプリケーションの基本的な使いかたや、本書で説明しているアプリケーションがうまく動作しないときの原因と対策を説明します。

この章で使うアプリケーション／ソフトウェア

CLIE：MSAutorun Ver.1.2/MS Import**など**
パソコン：MS Export/Web**ブラウザなど**

CLIE本体の他に必要なもの

アプリケーションを自動起動する（MSAutorun）

MSAutorunでできること

MSAutorunは“ メモリースティック ”をCLIEに入れたときに、あらかじめ設定したアプリケーションを自動的に起動するためのアプリケーションです。
“ メモリースティック ”内のアプリケーションを自動起動するように設定すると、“ メモリースティック ”を入れたときに、アプリケーションがCLIEのメモリに自動的にコピーされて起動します。この場合、“ メモリースティック ”を取り出すと、コピーされたアプリケーションはCLIEのメモリから自動的に削除されます。起動中は他のアプリケーションと同じように使用できます。
常にメモリ上におく必要のない、たまにしか使わないアプリケーションを“ メモリースティック ”に保存しておき、“ メモリースティック ”をCLIEの仮想メモリとして使うと、メモリを効率よく活用できます。
自動起動の設定には、以下のような種類があります。

CLIE 内のアプリケーションを自動起動する

例えば、デジタルスチルカメラで画像を撮影した“ メモリースティック ”をCLIEに入れたときに、CLIE内のPictureGear Pocketが自動的に起動して、画像を表示するように設定できます。

“ メモリースティック ”内のアプリケーションを自動起動する

例えば、gMovieアプリケーションと動画データを“ メモリースティック ”に保存しておき、“ メモリースティック ”をCLIEに入れると“ メモリースティック ”内のgMovieが自動的に起動するように設定できます。この方法を使うと、gMovieをインストールしていないCLIEでも、手軽に動画を再生できるようになります。

“ メモリースティック ”内のアプリケーションや関連データを自動起動する

“ メモリースティック ”内に保存したアプリケーションとその関連データ（例えばprc形式やpdb形式のファイル）を、自動的にCLIE本体にコピーして起動し、“ メモリースティック ”を抜くとCLIE本体から削除する、という設定ができます。

“ メモリースティック ”内のデータを指定して、CLIE内のアプリケーションを自動起動する

“ メモリースティック ”内の特定のデータに対応したCLIE内のアプリケーションを指定しておくと、“ メモリースティック ”を入れただけで指定したデータを自動的に表示するように設定できます。アプリケーションがCLIE内にあるときの設定です。

ご注意

- 「アドレス帳」「予定表」「メモ帳」「ToDo 」「電卓」「標準メール」「ATOK」アプリケーションは、MSAutorunでの使用をお勧めしません。データがCLIE本体内にないと、HotSync時などのデータの更新に支障が出ることがあります。
- 一部のアプリケーション利用している場合、メモリースティックを入れても、自動起動しない場合があります。その場合は1度ホーム画面に戻ってから、もう1度“ メモリースティック ”を入れてください。

MSAutorunはインストール不要です

MSAutorunは工場出荷時からCLIEに収録されているため、あとからCLIEにインストールする必要はありません。

アプリケーションの自動起動を設定する

“ メモリースティック ”内のアプリケーションを自動起動するには、以下の手順で設定します。ここでは例として、画像が入っている“ メモリースティック ”をCLIEに入れたときに、「PictureGear Pocket」が自動起動するように設定する操作を説明します。

1 **自動起動したいアプリケーション（PictureGear Pocket）を、CLIEにインストールする。**
詳しくは、91ページをご覧ください。

2 **入れたときにアプリケーションが自動起動するように設定したい“ メモリースティック ”を、CLIEに入れる。**

3 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［MSAutorun］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**
MSAutorunが起動します。
［MSAutorun］アイコンをタップして、MSAutorunを起動することもできます。

4 **ジョグダイヤルを押す。**
CLIE内のアプリケーションの一覧が表示されます。

5 **表示された一覧から、自動起動するように設定したいアプリケーション（PictureGear Pocket）をタップする。**

6 **［設定］をタップする。**
設定内容が“ メモリースティック ”に保存され、「自動起動設定出力」画面が表示されます。

7 **［OK］をタップする。**
PictureGear Pocketが自動起動するように設定されました。

8 **（ホーム）をタップしてホーム画面に戻る。**

9 **“ メモリースティック ”を取り出す。**

上記の設定で使ってみる

CLIEのホーム画面を表示して、“ メモリースティック ”を入れると自動的にPictureGear Pocketが起動します。“ メモリースティック ”を取り出すとPictureGear Pocketは終了して、ホーム画面に戻ります。さらに詳しい使いかたについては、MSAutorunのオンラインマニュアルをご覧ください。

ご注意

上記の手順で画像を見るときに、PictureGear Pocketの画面右上に［本体］と表示されているときは、CLIE内にある画像ファイルを見る設定になっています。“ メモリースティック ”内の画像を見るには、▼をタップして［MS］を選んでください。

オンラインマニュアルを見る

MSAutorunの詳細な情報は、付属CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載されています。なお、オンラインマニュアルを見るには、Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

1. **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
   自動的にインストール画面が表示されます。
2. **［終了］をクリックする。**
3. **［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**
4. **CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［開く］を選ぶ。**
5. **「Manuals」フォルダをダブルクリックする。**
6. **「MSAutorun Manual.pdf」をダブルクリックする。**
   オンラインマニュアルが表示されます。

Acrobat Readerがインストールされていないときは

上記の手順2のあとに、「PC_Applications」－「Acrobat」フォルダを開いてから「AR500JPN.exe」をダブルクリックして、Acrobat Readerをパソコンにインストールしてください。

“ メモリースティック ”に直接コピーする (MS Import/MS Export)

MS Import/MS Exportでできること

Memory Stick Import（MS Import）アプリケーションとMemory Stick Export（MS Export）ソフトウェアを使うと、パソコンからCLIEに挿入した“ メモリースティック ”に、HotSyncを使わずにアプリケーションやデータをインストールすることができます。

MS Import/MS Exportを使ってパソコンからインストールするには

MS ImportアプリケーションとMS Exportソフトウェアを同時に使用します。

MS Import/MS Exportをお使いになる前に

MS ImportアプリケーションをCLIE本体に、MS Exportソフトウェアをパソコンに、それぞれインストールする必要があります。

アプリケーションやデータを“ メモリースティック ”に直接インストールする

HotSyncを使わずに、アプリケーションやアプリケーションで使用するデータをCLIEに挿入された“ メモリースティック ”にコピーすることができます。

CLIEを“ メモリースティック ”の外付けドライブとして使用する

CLIEをパソコンの“ メモリースティック ”の外付けドライブのように使うことができます。ほかの外付けドライブを使用するのと同じように、アプリケーションのコピーや移動が、パソコン上のエクスプローラなどで行えます。

MS ImportをCLIEにインストールする

MS Importはパソコンのハードディスクからインストールできます。付属のインストールCD-ROMでCLIE Palm Desktopソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続してください。

1 Windows**のデスクトップの**［CLIE Palm Desktop］**アイコンをダブルクリックする。**
CLIE Palm DeskTopが起動します。

2 **［インストール］をクリックする。**

3 **ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**

4 **［追加］をクリックする。**
Add-onフォルダが選ばれていることを確認します。
選ばれていないときは手動で表示させます。
Add-onフォルダは、標準ではハードディスクの「Program Files」内の「Sony PDA」フォルダ内にあります。

5 Add-on**フォルダの中から**MS Import**フォルダをダブルクリックする。**

6 ［MsImport_JP.prc］**をダブルクリックする。**
「インストールするファイル」に「MsImport_JP.prc」が追加されます。

7 **［終了］をクリックする。**

8 **クレードルの**HotSync**ボタンを押す。**
HotSyncが始まり、MS ImportがCLIEに転送されます。

MS Exportをパソコンにインストールする

付属のインストールCD-ROMに収録されている、パソコン用のMS Exportソフトウェアをインストールします。

1 **パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。**
CD-ROMが認識されると、インストーラの起動画面が表示されます。

2 **［その他のソフトウェア］をクリックする。**

3 **［MS Exportのインストール］をクリックする。**
MS Exportソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが終了すると、インストーラの起動画面に戻ります。

4 **［終了］をクリックする。**

MS Exportを起動する

［スタート］メニューから［プログラム］－［MS Export］－［MS Export］をクリックする。

MS Exportの使いかたについて詳しくは、オンラインマニュアルをご覧ください。

“ メモリースティック ”にアプリケーションをインストールする

HotSyncを使わずに、パソコンからCLIEに挿入した“ メモリースティック ”にアプリケーションをインストールしたり、アプリケーションで使用するデータをコピーすることができます。
MS Exportがインストールされたパソコンにクレードルをつなぎ、パソコンの電源を入れておきます。

1 **“ メモリースティック ”を挿入したCLIEをクレードルに取り付ける。**

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［MS Import］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**
［MS Import］アイコンをタップして、MS Importを起動することもできます。
「パソコンと接続しました。」画面が表示され、CLIEがパソコンに接続されます。

3 **パソコンのデスクトップ画面上の［MS Exportショートカット］アイコンに、CLIE用のアプリケーションやデータをドラッグ＆ドロップする。**
“ メモリースティック ”内にあらかじめ用意されたフォルダにアプリケーションやデータがコピーされます。

MS Exportが判別できないアプリケーションやデータをドラッグ＆ドロップすると、「新規登録」画面が表示されます。アプリケーション名とアプリケーションのコピー先フォルダを入力してください。

4 **終わったら［切断する］をタップする。**

その他の情報
Chapter 8

Windows 2000 Professional/Windows Meをお使いのときは

［切断する］をタップすると、パソコンの画面に警告が表示されます。
［OK］をクリックして操作を続けてください。

インストールしたあとで“ メモリースティック ”の内容を確認するには

Windowsのデスクトップ画面のショートカットアイコンをダブルクリックしてMS Exportを起動し、［メモリースティック内容］タブをクリックします。［メモリースティック内容］ウィンドウに、アプリケーションやデータをドラッグ＆ドロップしてもインストールすることはできません。

ご注意

接続中は絶対に“ メモリースティック ”を抜かないでください。

CLIEをパソコンの外付けドライブとして使う

CLIEをパソコンに取り付けた外付けドライブとして使うことができます。
MS Exportがインストールされたパソコンにクレードルをつなぎ、パソコンの電源を入れておきます。

1 **“ メモリースティック ”を挿入したCLIEをクレードルに取り付ける。**

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して［MS Import］アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**
［MS Import］アイコンをタップして、MS Importを起動することもできます。
「パソコンと接続しました。」画面が表示されます。
CLIEをパソコンの外付けドライブとして扱うことができます。

3 **パソコンのエクスプローラなどで、目的に応じて操作する。**
パソコン内のアプリケーションやデータを“ メモリースティック ”にコピーすることができます。
また、“ メモリースティック ”内のアプリケーションやデータなどをパソコンにコピーしたり、削除したりできます。
このとき、データを“ メモリースティック ”内の¥PALM¥LAUNCHERフォルダにコピーすると、一部のアプリケーションでは表示できないことがあります。

4 **終わったら［切断する］をタップする。**

Windows 2000 Professional/Windows Meをお使いのときは

［切断する］をタップすると、パソコンの画面に警告が表示されます。
［OK］をクリックして操作を続けてください。

ご注意

接続中は絶対に“ メモリースティック ”を抜かないでください。

オンラインマニュアルを見る

MS ImportおよびMS Exportの詳細な情報は、付属CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルに記載されています。なお、オンラインマニュアルを見るには、Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。**
自動的にインストール画面が表示されます。

2 **［終了］をクリックする。**

3 **［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**

4 **CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［開く］を選ぶ。**

5 **「Manuals」フォルダをダブルクリックする。**

6 **「MS Import Export Manual.pdf」をダブルクリックする。**
オンラインマニュアルが表示されます。

Acrobat Readerがインストールされていないときは

上記の手順2のあとに、「PC_Applications」－「Acrobat」フォルダを開いてから「AR500JPN.exe」をダブルクリックして、Acrobat Readerをパソコンにインストールしてください。

インターネットで配布されるアプリケーション

CLIE公式ホームページのご案内

CLIE公式ホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）では、最新のサポート情報だけでなく、CLIEの機能を増やす追加アプリケーション（無料）や情報満載のコンテンツも配布しています。

アプリケーションをダウンロードしたいときは

CLIE公式ホームページの［SUPPORT→ダウンロード］のリンクから、必要なページに移動してください。

最新のサポート情報を確認したいときは

CLIE公式ホームページの［SUPPORT→機種ごとのサポート情報］のリンクから、必要なページに移動してください。

パソコンでダウンロードして、CLIEにインストールする

パソコンでインターネットにアクセスして、アプリケーションをダウンロードできます。

ご注意

- お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境が必要です。
- アプリケーションが圧縮されて提供されている場合は、そのままインストールすることはできません。ファイルの圧縮形式にあったソフトウェアで解凍してから、インストールしてください。

1. **パソコンでCLIE公式ホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）にアクセスする。**
2. **画面の指示に従って、アプリケーションをパソコンのハードディスクにダウンロードする。**
3. **ダウンロードしたファイル（拡張子.prc）をダブルクリックする。**
   「インストールツール」画面が表示されます。
4. **ユーザーの一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**
5. **［終了］をクリックする。**
6. **クレードルのHotSyncボタンを押す。**
   HotSyncが始まり、アプリケーションがCLIEに転送されます。

CLIE Palm Desktopソフトウェアからインストールするアプリケーションを指定することもできます

上記の手順1～2の操作を行って必要なアプリケーションをダウンロードしたあとに、CLIE Palm Desktopソフトウェアを起動し、インストールしたいアプリケーションを指定します。
詳しくはCLIE本体取扱説明書の「アプリケーションを追加して機能を拡張する」をご覧ください。

CLIEでインターネットに接続して、インストールする

CLIEで直接インターネットにアクセスして、アプリケーションをインストールすることもできます。

ご注意

インターネットに接続する前に、「インターネットに接続する」(11ページ)で必要な設定を行ってください。

1 CLIE**に別売りのモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話を接続する。**

携帯電話の電源が入っていることを確認してください。

2 **ホーム画面でジョグダイヤルを回して**［Xiino］**アイコンを選び、ジョグダイヤルを押す。**

Xiinoが起動します。

［Xiino］アイコンをタップして、Xiinoを起動することもできます。

3 メニュー **をタップして、［オプション］メニューから［設定］をタップする。**

設定画面が表示されます。

4 **［セキュリティ］の項目で［ローカル］が［実行する］または［警告する］に設定されていることを確認して、**［OK］**をタップする。**

5 **をタップする。**

インターネットに接続し、表示が表示に変わります。

6 CLIE**公式ホームページ**（http://www.sony.co.jp/CLIE/）**にアクセスする。**

7 **画面の指示に従って、アプリケーションをダウンロードする。**

ダウンロードしたアプリケーションは、すぐにCLIEで使用できるようになります。

故障かな？と思ったら

トラブルを解決するには

トラブルが発生したら、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

次ページからのトラブル情報をチェックする

アプリケーションごとに問題がまとめられているので、問題のアプリケーションに合わせてご覧ください。また、CLIE本体に関するトラブルは、本体取扱説明書をご覧ください。

「カスタマーサポート」を使う

CLIEの公式ホームページでは、お客様からのお問い合わせが多い質問と回答やQ＆A集を掲載しています。パソコンのデスクトップ上の［CLIEカスタマーサポート］アイコンをクリックしてください。

それでもトラブルが解決しないときは

ネットコミュニケーション カスタマーリンク（CLIE専用サポートセンター）またはお買い上げ店にご相談ください。

ご注意

- Xiino、Xiino Converter、Xiino Cruiserは株式会社イリンクスの製品です。これらのアプリケーションに関するお問い合わせは、オンラインマニュアルに記載されているお問い合わせ窓口にご連絡ください（52ページ）。
- Palm OS用に開発されたアプリケーションは、何千種類もあります。弊社ではそれら他社製のアプリケーション（HACKソフト、DAソフト含む）について動作保証をしていないため、サポートは行っておりません。
  他社製のアプリケーションで問題が生じた場合は、そのアプリケーションの開発元または発売元にお問い合わせください。

Xiinoのトラブル

インターネットに接続できない

「設定が間違っています」「認証が失敗しました」などと表示されて、インターネットに接続できない

➡ 「ネットワークの設定をする」(22ページ)の手順に従って、設定項目を確認してください。

インターネットに接続できない

➡ しばらくたってから接続し直してください。

➡ モバイルコミュニケーションアダプターは、CLIEのバッテリを使用しています。そのため、バッテリの残量が不足すると、インターネットに接続できなくなります。
ホーム画面に戻って、バッテリ残量を確認してください。

「モデムが見つかりません」と表示されて、インターネットに接続できない

➡ CLIEとモバイルコミュニケーションアダプター、携帯電話／PHSとの接続を確認してください。

ホームページが表示されない

画像が表示されない

➡ メニューアイコンをタップして、[オプション]メニューから[設定]を選び、画像表示に関する設定項目を確認してください。

- 画像をロード：[ユーザー設定]になっている場合は、[常にロード]に設定します。
- サーバ：URLをpds.ilinx.co.jpと英数字入力モードで入力します。

ホームページの一部または全部が表示されない

➡ 指定したホームページがMacromedia Flashなど、Xiinoで対応していない要素を使用している場合は、Xiinoでは表示できません。また、JavaScriptやJavaアプレットを利用したホームページも、未対応のコマンドを利用している場合は表示できません。

ホームページの読み込みに時間がかかる

➡ Webサイトまたは画像表示用のプロキシサーバーが混雑している場合は、別のプロバイダまたはアクセスポイントから接続すると、読み込み速度が改善されることがあります。また、時間帯によって混雑している場合がありますので、時間帯を変えてもう1度アクセスしてください。

ホームページが読み込めない

➡ URLを直接入力した場合は英数字入力モードで入力したかどうか、また"-"（ハイフン）と"_"（アンダーバー）、"0"（ゼロ）と"O"（オー）など入力間違いがないかどうか確認してください。

➡ アドレスのURLに含まれる「~」（チルダ）を入力するには、英数字キーボードを表示させてから、⬆（Shiftキー）をタップして、[~] をタップします。なお、CLIEで表示される「~」（チルダ）はパソコン上で表示される「~」と見た目が異なります。アドレスなどを入力するときにご注意ください。

➡ ブックマークからアクセスした場合は、ブックマーク登録したページが別のアドレスに移転してしまっている可能性があります。URLを短くして、リンクをたどってみましょう（例：http://www.so-net.ne.jp/xxxx/がアクセスできなかった場合は、http://www.so-net.ne.jp/にアクセスしてみる）。

その他

HotSyncしても、Cruiserファイルが転送されない

➡ Xiino Cruiserを以下のように設定して、データ量の小さいCruiserファイルを作成してください。
1 巡回するサイトの数を減らす。
2 巡回する深さを減らす。

➡ 不要なアプリケーションやチャンネル、キャッシュを削除して、CLIEの空きメモリ容量を確保してみてください。

➡ ユーザー名が日本語だとファイルは転送されません。

CLIE Mailのトラブル

メールを送受信できない

送信できない

➡「ネットワークの設定をする」（22ページ）の手順に従って、メールサーバーの設定を確認してください。

➡ しばらくたってからもう1度送信してください。

➡ 一部のプロバイダでは、送信の前に受信の操作が必要な場合があります。受信の操作を行ってから、3分以内に送信してください（受信してからどれくらいまでの間に送信する必要があるかは、プロバイダによって異なります）。

受信できない

➡「ネットワークの設定をする」（22ページ）の手順に従って、メールサーバーの設定を確認してください。

➡ しばらくたってからもう1度受信してください。

「アカウントが違います」「パスワードが違います」と表示された

➡「ネットワークの設定をする」（22ページ）の手順に従って、ユーザー名やパスワードの設定を確認してください。

その他

Mailer Daemonという差出人からメールが届いた

➡ メールが送信相手に届いていません。相手のメールアドレスを確認してください。

メールアドレスが正しいにも関わらずMailer Daemonからメールが届く場合は、相手のメールサーバーに障害が発生しているか、相手がメールアドレスを変更してしまった可能性があります。

パソコンの電子メールソフトウェアとメールを同期できない

➡ メールの転送設定が正しく設定されていない。「パソコンの同期設定を変更する」（82ページ）、「持ち歩くメールをCLIE側で詳細に指定する」（83ページ）の手順に従って、設定を確認してください。

また、HotSync後にCLIEの［ログ］をタップして表示されるログを確認すると、原因が明らかになる場合もあります。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

アルファベット順

CLIE ホームページ
CLIE を楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.sony.co.jp/CLIE/

ネットコミュニケーション カスタマーリンク ホームページ
CLIE の最新サポート情報をご案内します。
● http://www.nccl.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

使い方のご相談、技術的なお問い合わせは
ネットコミュニケーション カスタマーリンクへ
● 0466-30-3080
カスタマー登録、一般的なお問い合わせは
ソニーカスタマー専用デスクへ
● 03-5977-7255

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービスサポートのご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan